

魚津市観光振興計画

平成 24 年 3 月

魚津市

はじめに

このたび、魚津市では、平成 28 年度を目標年度とした5年間にわたる観光振興の指針となる「魚津市観光振興計画」を策定いたしました。

市では、平成 23 年3月、県内自治体では初となる観光振興条例を制定し、観光振興に努めています。本計画は、本条例に規定されている観光振興を総合的かつ戦略的に推進するための基本となる計画となります。

昨今の情勢としては、不安定な世界の経済状況や国内では未曾有の大災害などの影響から、依然として低迷し続ける景気、それに伴う雇用不安など厳しい経済状況が続く中、人口減少、少子・高齢社会が進み、税収の落ち込みなど、市にとっても厳しい経済・財政状況が続いています。

観光は、観光業にとどまらず、商工業、農林水産業等幅広い分野の地域経済へ波及効果をもたらす総合的な産業と言われ、地域活性化のための重要な要素であります。また、平成 26 年度末には北陸新幹線長野-金沢間の開業が予定されており、観光・ビジネスなどの人的交流による活性化が期待されています。

本市は、蜃気楼、ほたるいか群遊海面、埋没林の三大奇観をはじめ、戦国の城跡、米騒動発祥の地、たてもん行事などの歴史的・文化的遺産、水族博物館、埋没林博物館などの集客施設、豊かな自然からの新鮮な食材やその加工品等、多彩な地域資源があります。

本計画では、これら多くの地域資源を観光資源として魅力の向上を図り、活用し、観光客が本市にできる限り長く滞在し、再び訪れたくなるような観光のまちづくりを進めていくこととしています。

また、本計画の推進については、市民、観光事業者、観光関係団体等が一丸となって取り組む必要がありますので、ご協力心からお願い申し上げます。

最後に、本計画策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました魚津市観光振興計画策定委員会の皆様をはじめ、検討部会やアンケートなどを通じてご協力を頂きました、たくさんの団体・市民の皆様に深くお礼を申し上げます。

平成 24 年3月

魚津市長 澤崎 義敬

目次

| | | |
|-----------------------------|-------|-----|
| 第1章 計画の策定にあたって | | P4 |
| 1. 計画策定の趣旨・目的 | | P5 |
| 2. 計画の概要 | | P5 |
| (1) 計画の位置づけ | | P5 |
| (2) 計画の策定方法 | | P5 |
| (3) 計画期間 | | P5 |
| | | |
| 第2章 魚津市の観光を取り巻く現状と課題 | | P6 |
| 1. 全国の観光形態・ニーズの状況 | | P7 |
| (1) 国内観光旅行の動向 | | P7 |
| (2) 観光に対する意識 | | P8 |
| (3) 観光の目的、形態の変化 | | P9 |
| 2. 魚津市の観光の現状と課題 | | P10 |
| (1) 魚津市の観光の現状 | | P10 |
| (2) 魚津市の観光の主な資源 | | P12 |
| (3) 魚津市の観光に関する意識 | | P15 |
| (4) 魚津市の観光の課題 | | P23 |
| | | |
| 第3章 観光振興の戦略 | | P25 |
| 1. 基本方針・目標 | | P26 |
| (1) 基本方針 | | P26 |
| (2) 目標 | | P26 |
| 2. 戦略の内容 | | P27 |
| 【基本戦略1】 おもてなしの充実 | | P28 |
| 【基本戦略2】 観光資源の活用 | | P32 |
| 【基本戦略3】 魚津ブランドの創出 | | P38 |
| 【基本戦略4】 広域観光・プロモーションの推進 | | P42 |

| | | |
|------------------------------|-------|-----|
| 第4章 推進体制 | | P47 |
| 1. 市民、観光事業者・観光関係団体・観光協会・市の役割 | | P48 |
| 2. 魚津市観光振興計画推進協議会 | | P49 |
| | | |
| 第5章 資料編 | | P50 |
| 1. 観光資源一覧 | | P51 |
| 2. 観光に関する統計資料 | | P54 |
| 3. 観光振興条例及び観光振興計画策定の経過 | | P56 |
| 4. 観光振興条例及び観光振興計画策定の体制 | | P57 |
| 5. 魚津市観光振興条例 | | P59 |
| 6. 観光振興計画策定検討部会からの事業提案 | | P62 |

第1章 計画の策定にあたって

1. 計画策定の趣旨・目的

魚津市では、平成 23 年3月に魚津市観光振興条例(以下「条例」という。)を制定し、観光振興に対する基本的な考え方を定め、観光振興施策を総合的に推進することにより、豊かで活力に満ちた観光のまち魚津の実現を目指すこととしています。

そこで総合的かつ戦略的に観光振興を推進するため、条例第7条に規定されている観光振興計画を策定します。

2. 計画の概要

(1)計画の位置づけ

魚津市観光振興計画は、条例の理念のもと、観光の振興を総合的かつ戦略的に推進する具体的な方策を示しています。

これらの計画に定める観光施策を達成するため、市民、観光事業者、観光関係団体及び市が連携しながら、一体となって計画に取り組んでいきます。

(2)計画の策定方法

魚津市観光振興計画の策定にあたっては、観光事業者、観光関係団体をはじめ、各種産業団体、学識経験者、行政関係などで構成する「観光振興計画策定委員会」を設置し、本市の観光振興に向けた方向性や取り組みなどを議論してきました。

また、策定委員会の構成組織の実務担当者による「魚津市観光振興計画策定検討部会」を立ち上げ、計画の具体的方策づくりにあたってきました。

これらに加え、観光に関する満足度等に関する調査やパブリックコメント手続きを実施し、そこで寄せられた市民等の方々の意見をもとに魚津市観光振興計画をとりまとめました。

(3)計画期間

魚津市観光振興計画の期間は、2012(平成 24)年度～2016(平成 28)年度の5年間とします。

また経済状況の変化等、必要に応じて計画の内容を見直します。

第2章 魚津市の観光を取り巻く現状と課題

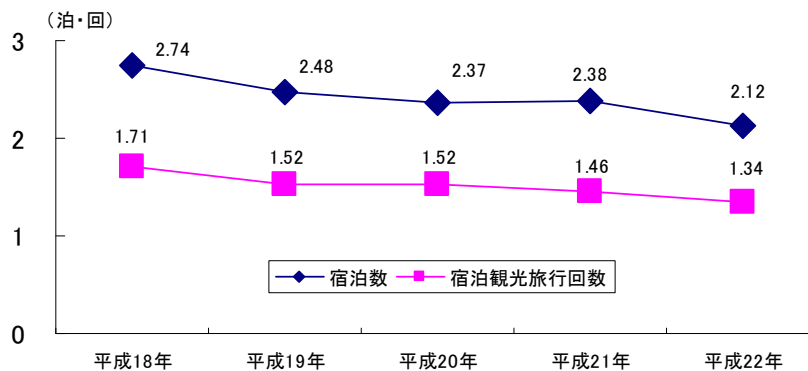
1. 全国の観光形態・ニーズの状況

(1) 国内観光旅行の動向

国内の宿泊観光旅行の動向を見ると、「宿泊数(泊)」、「宿泊観光旅行回数(回)」ともに平成18年から比較すると減少傾向になっています。平成22年には宿泊数では2.12泊と前年比11%減、旅行回数は1.34回と前年比8.3%の減となっています。

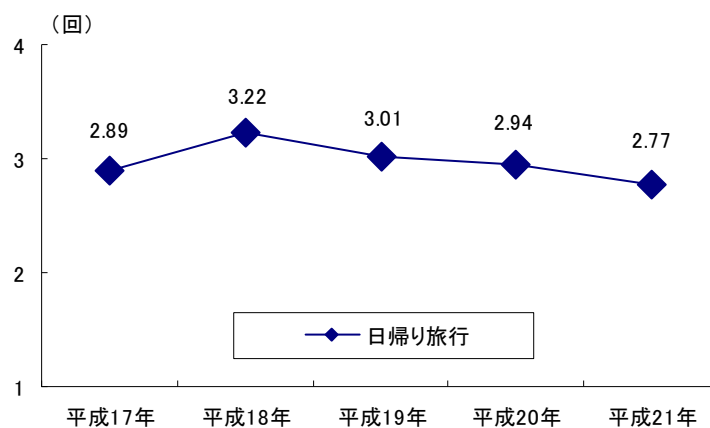
また「日帰り旅行」の回数も平成18年より減少傾向となっています。

■国内宿泊観光旅行の回数及び宿泊者の推移



資料：国土交通省観光庁「旅行・観光消費動向調査」

■日帰り観光旅行の動向



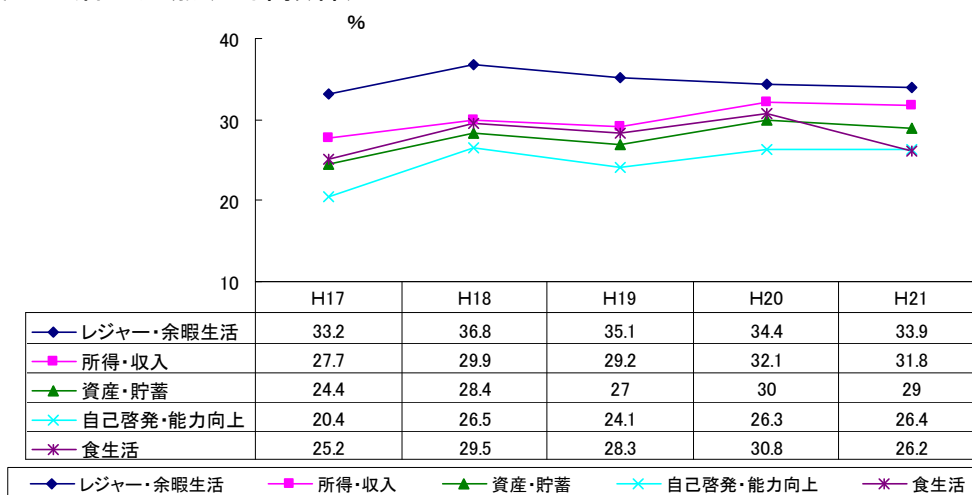
資料：国土交通省観光庁「旅行・観光消費動向調査」

(2) 観光に対する意識

国民生活に関する世論調査結果をみると、「今後の生活の力点(今後の生活において特にどのような面に力をいれたいか)」としては、「レジャー・余暇生活」のポイントが長期間にわたり最も高くなっており、観光に対するニーズが依然として高いことが分かります。一方、「食生活」も上昇傾向にあることから、食を始めとする消費全般への関心が高まっていることがうかがえます。

また、「自由時間の過ごし方」として、「旅行に行く」は 20%前後で推移しており、国民生活の中で旅行が身近なものとして定着していることがうかがえます。

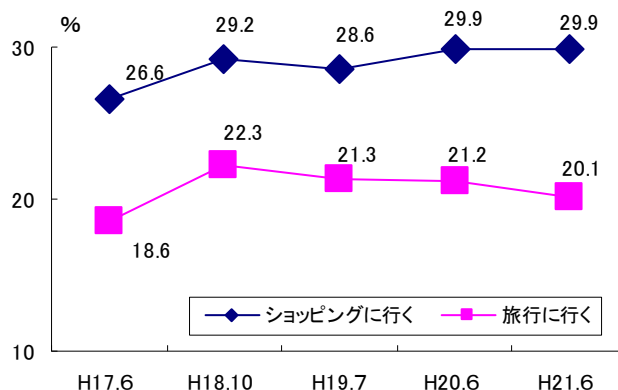
■今後の生活の力点(一部抜粋)



(注) 11 項目からの抜粋(複数選択)

資料:「国民生活に関する世論調査」

■自由時間の過ごし方(一部抜粋)



資料:「国民生活に関する世論調査」

(3) 観光の目的、形態の変化

● 観光目的の多様化

「観る」だけの観光から参加や体験（農業体験や自然体験）、交流（地域の人々とのふれあい、まち歩き）、学習型（地域学習、産業や環境学習）へと観光目的が移りつつあります。グルメ、健康、芸術文化、スポーツなどテーマを持った観光の需要も増えつつあるなど、観光の目的の多様化が進んでいます。

● 旅行形態の変化

旅行形態は、長引く景気低迷や個人趣向の強まり、インターネット予約等の情報技術の進展などから職場等の団体旅行が減少する一方で、個人や友人などの小グループ化が進んでいます。

● 発地型観光から着地型観光へ

これまでの旅行商品が都市部の旅行会社で企画・造成される「発地型」であったのに対し、消費者志向の多様化にともない、地元の人しか知らないような穴場や楽しみ方が求められるようになり、より詳しい情報を持つ観光地側で旅行商品を企画・造成する「着地型」の観光が注目をあびています。

● 観光のグローバル化

高速交通体系の整備が進み、観光訪問エリアの広域化が見られるほか、国、県や広域観光関連団体等の積極的な誘客による外国人観光客の増加傾向が見られます。

2. 魚津市の観光の現状と課題

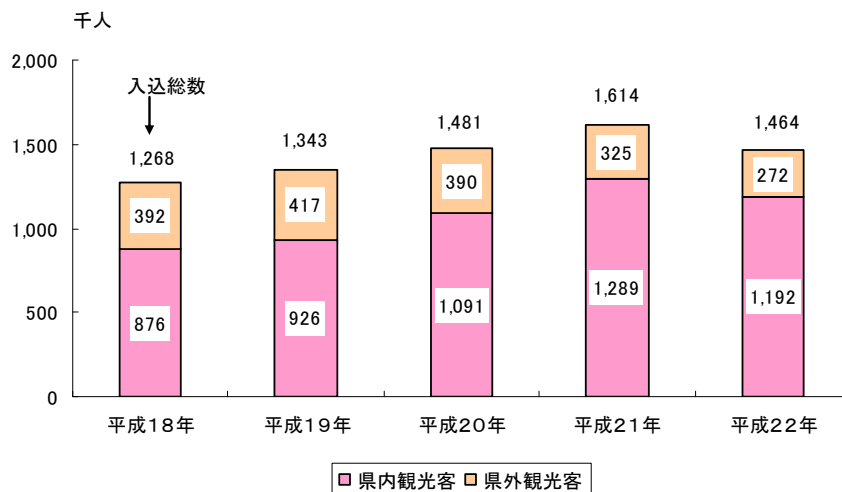
(1) 魚津市の観光の現状

①観光客の入込状況等

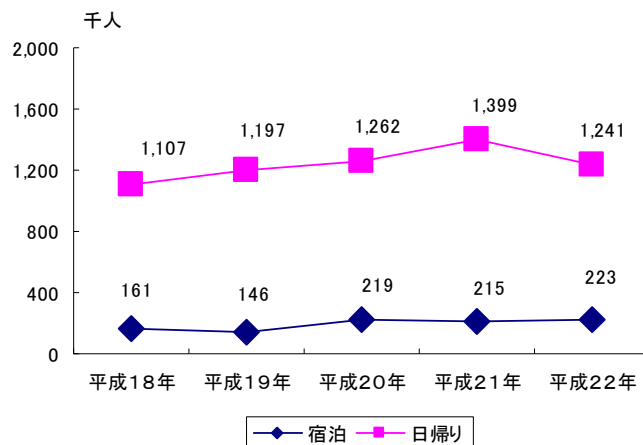
本市の観光客入込状況の推移を見ると、平成18年から平成21年まで毎年増加傾向にあります。特に平成21年は、大河ドラマ『天地人』の効果も見られ前年比9%増の1,614千人となりました。しかしながら平成22年には平成20年の水準にまで減少しました。

また旅行形態も同様の推移となっていますが、宿泊者数に関しては、平成18年以降、平成22年まで概ね増加傾向で推移していますが、これは新たな宿泊施設の整備によるものと考えられます。

■観光客入込数の推移



■旅行形態ごとの推移



資料：商工観光課調べ

資料：商工観光課調べ

②主な集客施設・イベントの入込数

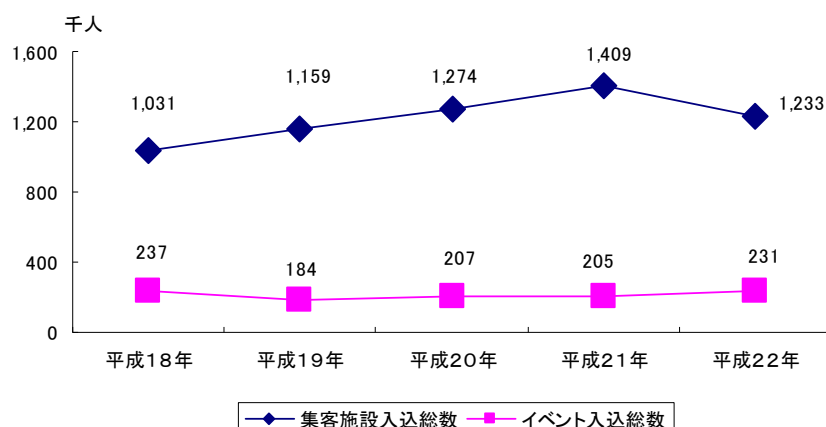
集客施設及びイベントの入込数をみると、集客施設は平成18年から平成21年までは増加傾向にあります。特に平成21年の大河ドラマ『天地人』の効果により、最も高くなっていますが、平成22年には平成20年の水準まで減少しています。一方、イベントに関しては、おおむね横ばいで推移しています。

集客施設ごとにみると、歴史民俗博物館の入館者数が前年の3倍超増加したのをはじめ、各施設にも波及しています。しかしながら翌年度には減少に転じています。

したがって『天地人』の効果がとても大きいことから、この効果を一過性で終わらせることなく、継続的に活用していくことが重要と言えます。

イベントの集客については、天候が大きく影響するものの、内容の充実を図ることによる更なる集客に努めていく必要があります。

■集客施設及びイベント入込総数



資料：商工観光課調べ

■各集客施設の入込数

(単位：千人)

| | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 魚津水族館 | 137 | 151 | 143 | 154 | 130 |
| 埋没林博物館 | 68 | 51 | 53 | 50 | 40 |
| 歴史民俗博物館 | 5 | 3 | 4 | 13 | 4 |

■各イベントの入込数

(単位：千人)

| | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 戦国のろし祭り | 4 | 4 | 3 | 4 | 3 |
| 魚津まつり | 95 | 50 | 70 | 61 | 75 |
| 〇〇魚津 | 40 | 31 | 36 | 37 | 34 |

資料：商工観光課調べ

※詳細な数値については、資料編をご覧ください。

(2) 魚津市の観光の主な資源 (本ページは、A3 横で)

《観光マップ》



《イベント・特産資源カレンダー》(本ページは、A3 横で)

| 大分類 | | 中分類 | | 具体的資源 | | | | | | | | | | | |
|------------|--------------------------|-------------|--|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| | | | | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
| イベント資源 | ＜交流イベント＞ | 戦國のろし祭り | | | | | | | | | | | | | |
| | | 新川学びの森音楽祭 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 〇〇(まるまる)魚津 | | | | | | | | | | | | | |
| | | じやんとこい魚津まつり | | | | | | | | | | | | | |
| | | 桜のページェント | | | | | | | | | | | | | |
| | ＜物販市＞ | 松倉もちよりの市 | | | | | | | | | | | | | |
| | | おいで安夕市 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津の朝市 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 全日本大学女子野球 | | | | | | | | | | | | | |
| | | しんきろうマラソン | | | | | | | | | | | | | |
| ＜スポーツイベント＞ | 環日本海オーソニック魚津ホークスカデット卓球大会 | | | | | | | | | | | | | | |
| | イルミラージュUOZU | | | | | | | | | | | | | | |
| | 西布施ぶどう | | | | | | | | | | | | | | |
| | 加積りんご | | | | | | | | | | | | | | |
| | 下野方梨 | | | | | | | | | | | | | | |
| 特産資源 | ＜果物＞ | かのこゆり | | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津産木材 | | | | | | | | | | | | | |
| | | ミラージュ米 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 新川だいこん | | | | | | | | | | | | | |
| | | 新川きゆうり | | | | | | | | | | | | | |
| | ＜野菜＞ | 魚津漆器 | | | | | | | | | | | | | |
| | | ホタルイカ | | | | | | | | | | | | | |
| | | ヘニズワイガニ | | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津寒ハギ如月王 | | | | | | | | | | | | | |
| | | バイ貝 | | | | | | | | | | | | | |
| ＜加工品＞ | ゲンゲ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 甘エビ | | | | | | | | | | | | | | |
| | かまぼこなどの水産加工品 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 舟慶蝦 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

《交通体系》

首都圏や海外からの交通アクセスについては、鉄道や自動車及び飛行機等、高速交通体系が整備され、今後、北陸新幹線の開通により利便性はますます高くなります。

また魚津市内を運行する公共交通として、市民バス(市街地巡廻ルート、郊外ルート)及び地鉄バスがあります。

県外から魚津市へのアクセス

◆列車(JR、新幹線・特急利用の場合)

東京方面から

| | | | | | |
|-----|------------------|-------|------------------------|-----|--------|
| 東京駅 | 上越新幹線 (新幹線とき) | 越後湯沢駅 | ほくほく線・北陸本線 (特急はくたか) | 魚津駅 | 3時間20分 |
|-----|------------------|-------|------------------------|-----|--------|

名古屋方面から

| | | | | | |
|------|------------------------|-----|----------------|-----|--------|
| 名古屋駅 | 東海道本線、北陸本線 (特急しらさぎ) | 富山駅 | 北陸本線 (普通列車) | 魚津駅 | 4時間10分 |
| | 東海道本線、高山本線 (特急ひだ) | 富山駅 | 北陸本線 (普通列車) | | 4時間20分 |

大阪方面から

| | | | |
|-----|-------------------------|-----|--------|
| 大阪駅 | 湖西線、北陸本線 (特急サンダーバード) | 魚津駅 | 3時間30分 |
|-----|-------------------------|-----|--------|

◆自動車(高速道路利用の場合)

東京方面から

| | | | | | | |
|------|-----|-------|-------|-------|------|--------|
| 練馬IC | 関越道 | | 長岡JCT | 北陸道 | 魚津IC | 4時間30分 |
| | 関越道 | 藤岡JCT | 上越道 | 上越JCT | | 北陸道 |

名古屋方面から

| | | | | | | |
|------|------|-------|-------|--------|------|--------|
| 一宮IC | 名神高速 | | 米原JCT | 北陸道 | 魚津IC | 3時間10分 |
| | 名神高速 | 一宮JCT | 東海北陸道 | 小矢部JCT | | 北陸道 |

大阪方面から

| | | | | | |
|------|------|-------|-----|------|--------|
| 吹田IC | 名神高速 | 米原JCT | 北陸道 | 魚津IC | 4時間10分 |
|------|------|-------|-----|------|--------|

◆飛行機

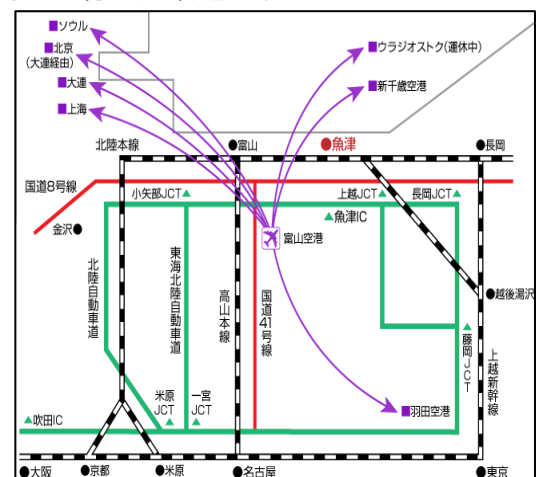
○富山空港から富山駅まで約30分(連絡バス)→富山駅から魚津駅まで約30分(普通列車)

○富山空港から魚津駅まで約40分(車、高速使用)

- 東京(羽田)→富山 約1時間
- 札幌(新千歳)→富山 約1時間25分
- ソウル→富山 約1時間40分
- 北京→(大連)→富山 約5時間20分
- 大連→富山 約3時間
- 上海→富山 約3時間20分
- 台北→富山 約3時間30分

◆高速バス

- 東京(池袋駅東口) → 魚津IC 約6時間
- 山形(山形県庁前) → 魚津IC 約6時間
- 仙台(仙台駅前) → (高速バス停) 約7時間30分
- 新潟(新潟駅前) 約3時間



交通アクセス図

(3) 魚津市の観光に関する意識

①GAP調査

地元が「売りたいもの」と観光客等が「買いたいもの」に違いがあると、まったく売れません。そこで、都市との意識の違い(ギャップ)を把握するために、「魚津の食と地域の交流促進協議会」がGAP(ギャップ)調査を実施しました。この意識の違いを把握した上で、誘客対象の絞込みや、新たなPR 方法の検討など、今後の観光施策に反映していくことが大切であると考えられます。

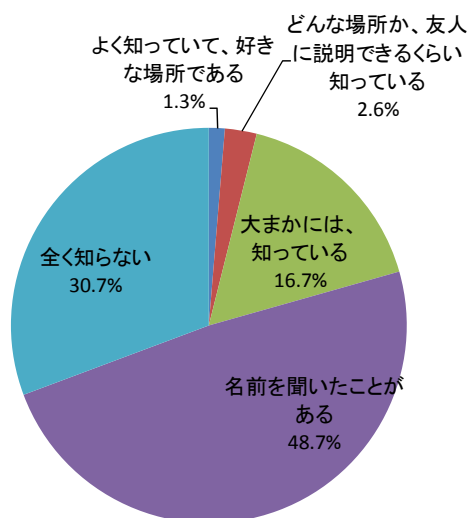
◆GAP調査◆

- 目的 本市の認知度やイメージ、地域の食等の観光資源の関心度について都市と地域との意識の違い(ギャップ)を調査し、今後の観光振興に取り入れていく。
- 調査期間 平成23年9月9日(金)～11日(日)
- 調査方法 インターネットモニター会員による回答 回答者 1,035名
[性別] 男・女 300:700
[年代] 20歳以上
[居住都道府県] 東京都(40%)、神奈川県(10%)、埼玉県(10%)、愛知県(20%)、大阪府(20%)
- 実施者 魚津の食と地域交流促進協議会(事務局:観光協会)

調査の結果から、「魚津市の認知度」について、「名前を聞いたことがある」が最も高く48.7%、次いで「全く知らない」が30.7%、「大まかには知っている」が16.7%の順となっています。

■魚津市の認知度

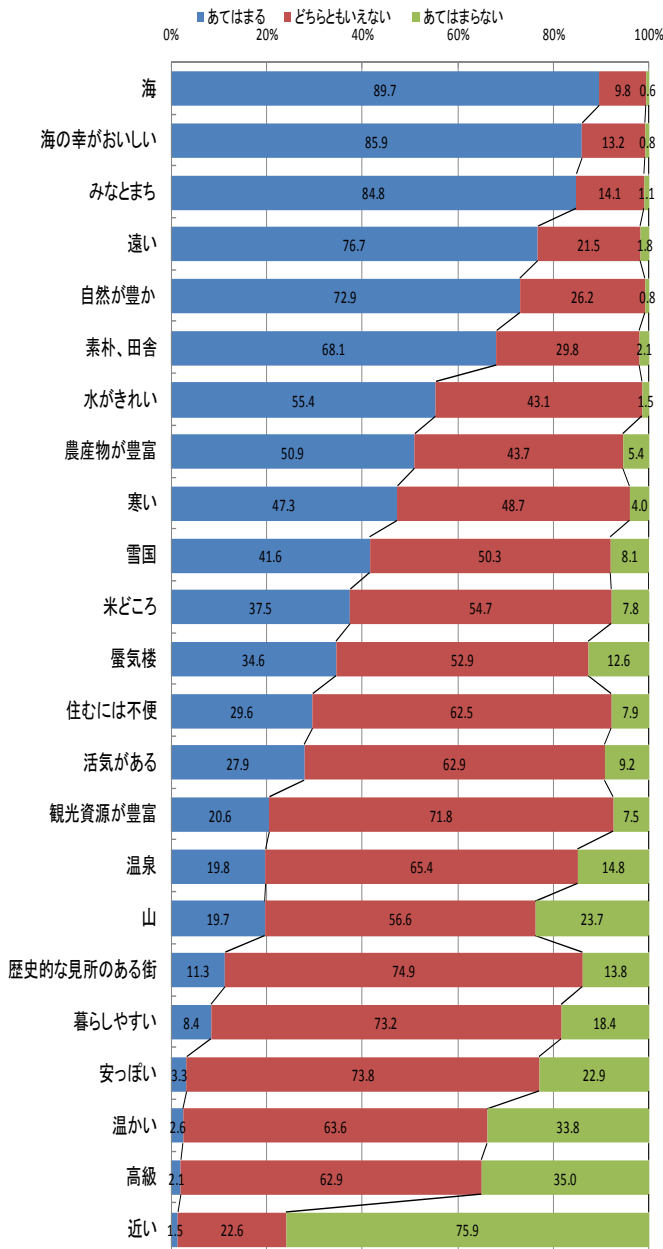
回答者(N=1,035)



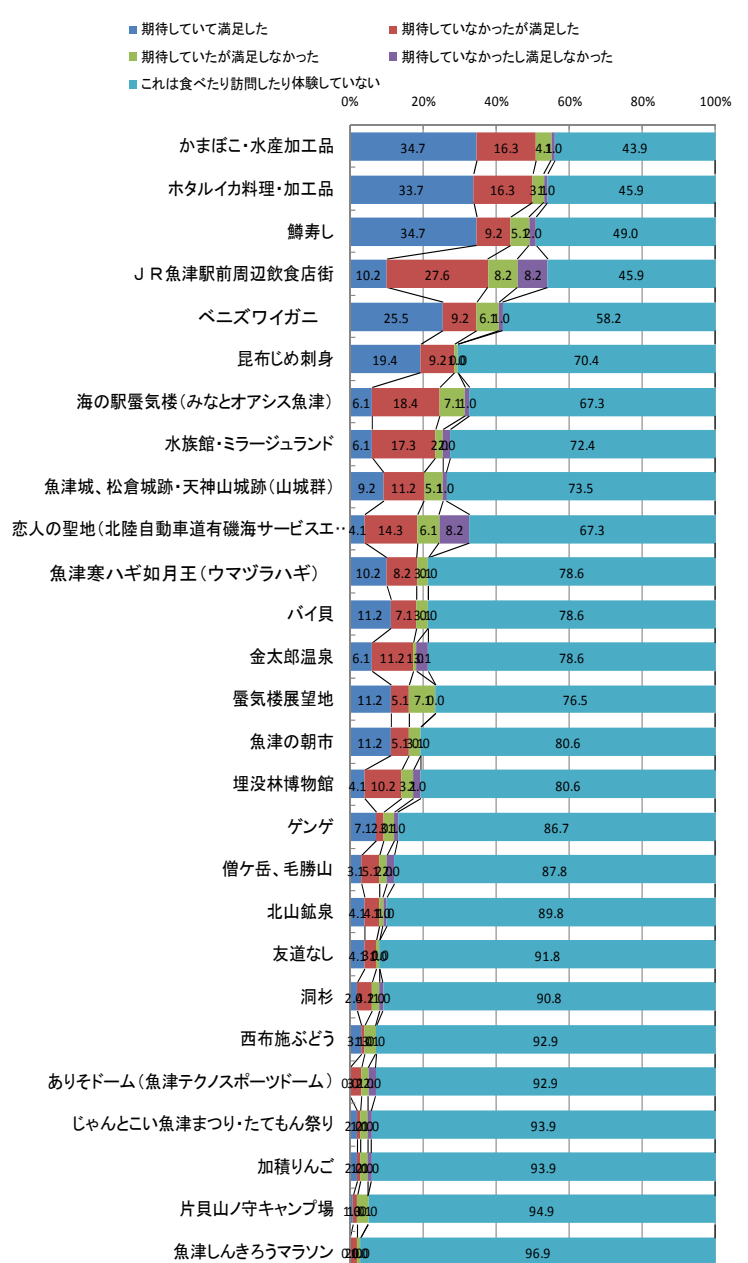
「魚津市のイメージ」として「あてはまる」が高かったものは、「海」89.7%、「海の幸がおいしい」85.9%、「みなとまち」84.8%、「遠い」76.7%、「自然が豊か」72.9%となっています。

「魚津市での訪問・体験・満足度」で、満足度が高かったのは、「かまぼこ・水産加工品」51%、「ホテルイカ料理・加工品」50%、「鱒寿し」43.9%、「JR魚津駅前周辺飲食店街」37.8%、「ベニズワイガニ」34.7%となっています。

■魚津市のイメージ

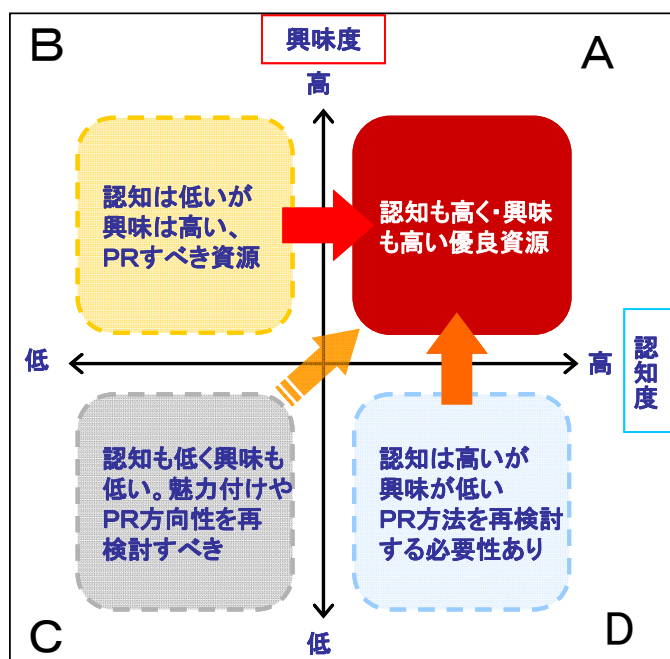


■魚津市の訪問・体験・満足度

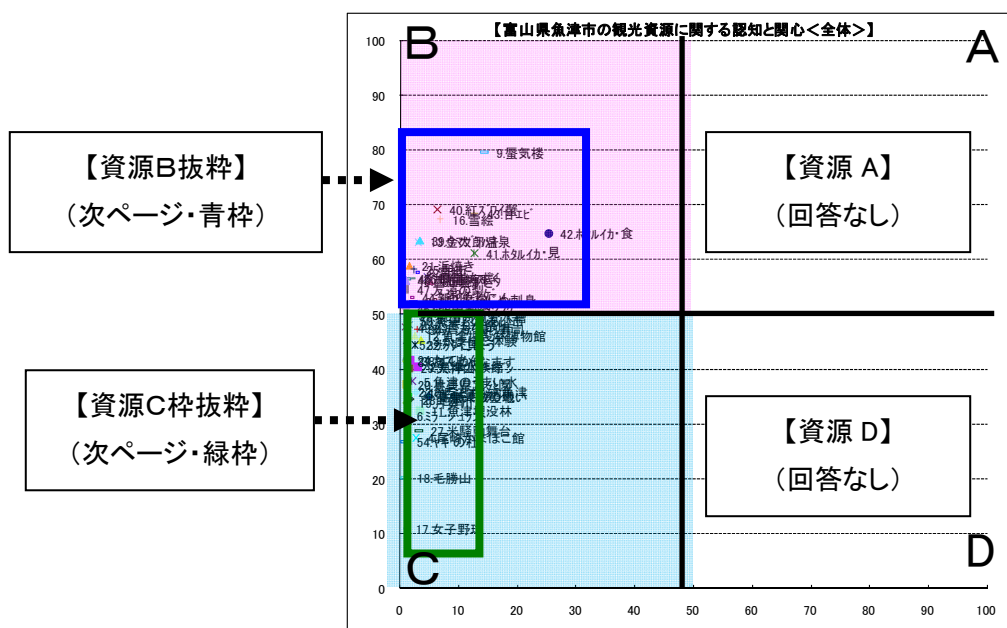


「魚津市の観光資源の認知度と興味度」の関連図は次のとおり(解説図)で、右上に位置する資源(A)は、優良資源として、現在でもなお全国的に有名な資源となります。左上に位置する資源(B)は、今後伸びる可能性が高く、注目すべき資源となります。調査の結果、AとDの資源はありませんでした。(調査結果一覧参照)資源(B)及び資源(C)についての結果は、次ページにて抜粋表示します。

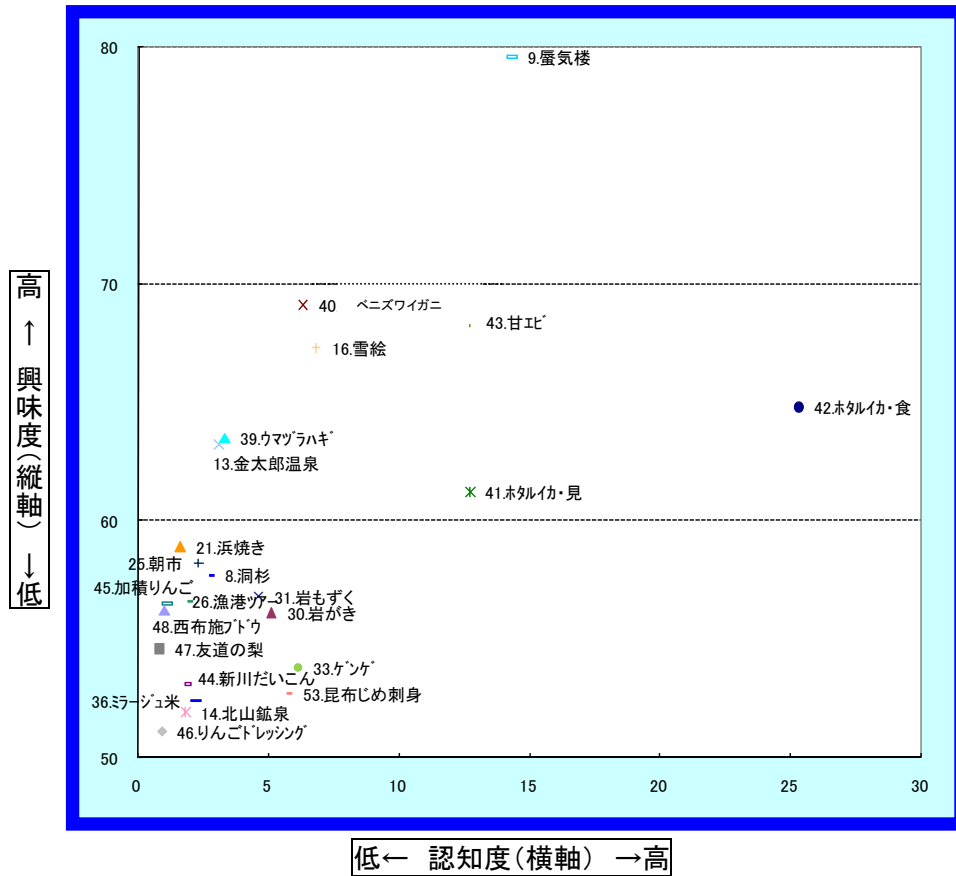
■観光資源の認知度と興味度の分布関連図(解説図)



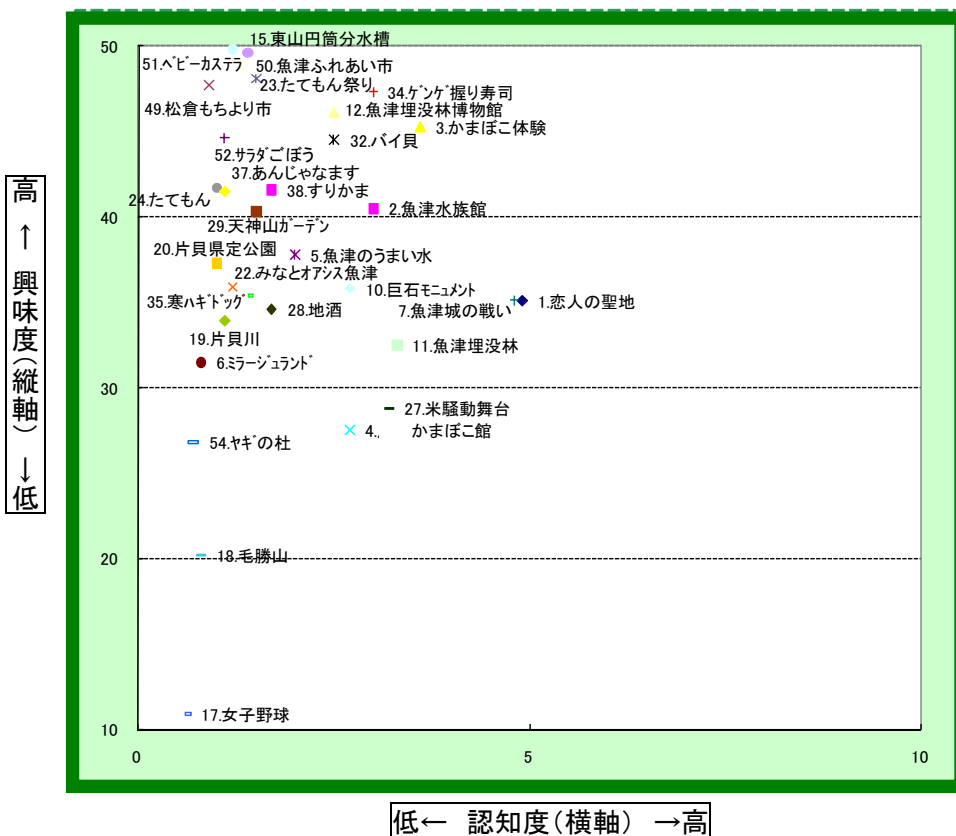
■観光資源の認知度と興味度の分布関連図(調査結果一覧)



●【資源B(抜粋)】 認知は低いが興味は高い、PR すべき資源



●【資源C(抜粋)】 認知も低く興味も低い、魅力付けやPR 方向性を再検討すべき



本市の資源で「蜃気楼」が最も興味度が高く、「ベニズワイガニ」、「甘エビ」、「ホタルイカ」、「ウマズラハギ」と海産物が高い結果となっています。「雪絵」に興味があるとの回答が高いことが特徴となっています。

「蜃気楼」はもっと認知度が高いものと考えていましたが、意外に低い結果であることに意識の違いが見られました。「認知度は低いに興味は高い、PRすべき資源」のエリアでも、資源B枠の左下に集中しており、今後の検討すべき点であると思われます。

一方、「女子野球」が最も認知も興味度も低い結果となっており、今後のPRの仕方を再検討すべきであると考えられます。「米騒動の舞台」についても、歴史的に重要な出来事の一つとして、もっとPRすべきだと考えられます。

最後に、魚津での希望する体験では、「蜃気楼展望地でのんびり浜焼きランチ(27.5%)」や「漁船見学ととれたて海の幸を漁港で浜焼き体験(24.3%)」、「漁師が教える魚のさばき方体験と獲れたて鮮魚ランチ(20.6%)」が興味度の高いプランであるとの結果となっています。

■魚津市の企画・イベントに関する調査

| 魚津市でもし以下のような企画やイベントがあれば興味がありますか？ | 「興味があり、行ってみたい」との回答した割合(%) |
|---------------------------------------|---------------------------|
| ロマンの海、蜃気楼展望地でのんびり浜焼きランチ | 27.5 |
| 漁船見学ととれたて海の幸を漁港で浜焼き体験 | 24.3 |
| 漁師が教える魚のさばき方体験ととれたて鮮魚ランチ | 20.6 |
| 岩を抱いた巨木「洞杉」散策とご当地グルメ弁当を食べるツアー | 17.7 |
| とれたてブランド卵「さくら卵」と地元産コンヒカリで食べる絶品「卵かけご飯」 | 16.5 |
| まるで陸の水族館！魚市場のセリ見学と浜焼き定食 | 16.0 |
| 水族館でお魚レクチャーとペンギン餌やり | 14.5 |
| ご飯のお供に、酒の肴に絶品！ホタルイカの黒作り体験 | 12.3 |
| とれたて魚津産鮮魚で昆布じめ刺身作り体験 | 11.4 |
| 片貝川のおいしい水の旅。日本一美しい「東山円筒分水槽」見学 | 11.0 |

今回のGAP調査から、地元では知られていると考えられていた資源が実は都市圏ではあまり知られていない意識の違いがあることが明らかとなりました。

また海産物を食することに関しては興味度が高いことから、今後活用していくことが重要と考えられます。

今後はこのGAP調査の結果を基に、関心度の高い資源については、より一層のPR活動に努め、一方、認知度が低い結果となった資源については内容の磨き上げ(ブラッシュアップ)を行い、戦略的にPR活動を展開していく必要があります。

②観光客満足度調査

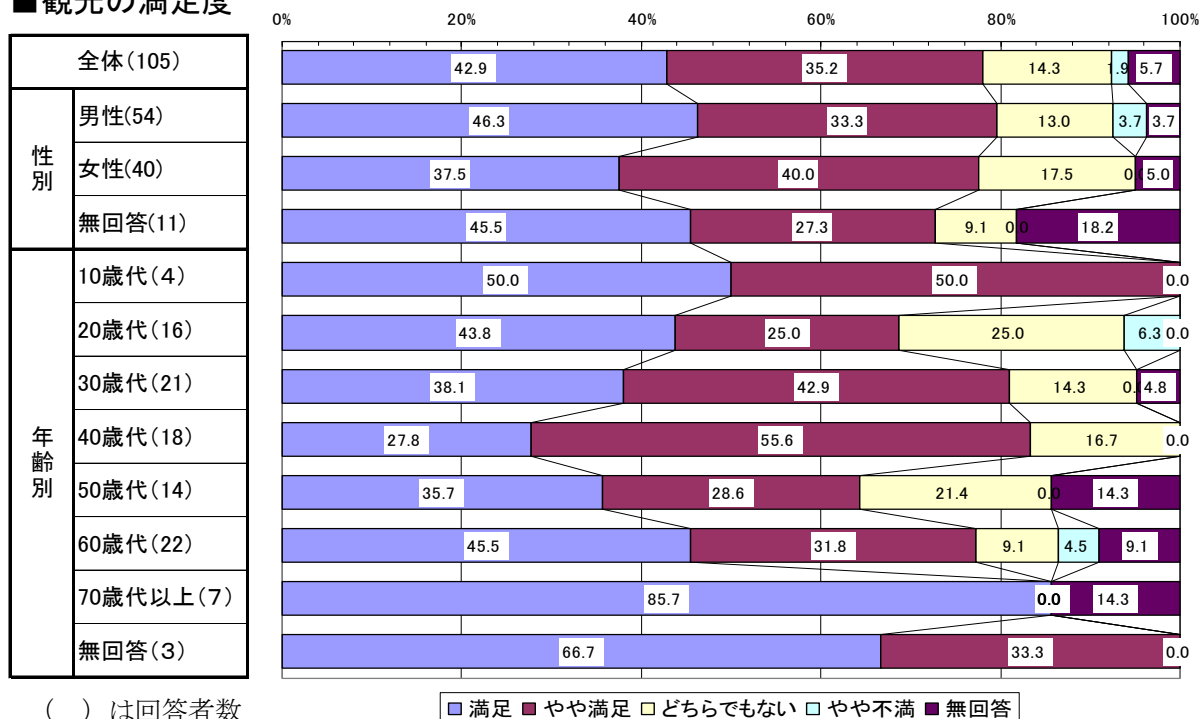
観光の振興を図る上で、観光客が何度も本市を訪れたいくなるような気持ちを持っていただくことが、観光のリピーター作りには、必要不可欠です。そうしたことから、観光目的で本市を訪れた観光客に対し、観光の感想等を調査し、観光地としての魅力向上のため、伸ばすところ、改善すべきところを検討します。

◆観光客満足度調査◆

- 目的 本市の観光についての観光客の意識や感想等の把握のため調査を実施し、今後の観光振興に取り入れていく。
- 調査期間 平成23年12月1日(水)～平成24年1月3日(火)
- 対象者 市内の宿泊施設や観光施設の観光客
- 実施施設 市内の宿泊施設及び水族博物館、埋没林博物館、駅前観光案内所
- 回答者数 105 (男性:54、女性:40、無回答:11)
- 実施者 魚津市

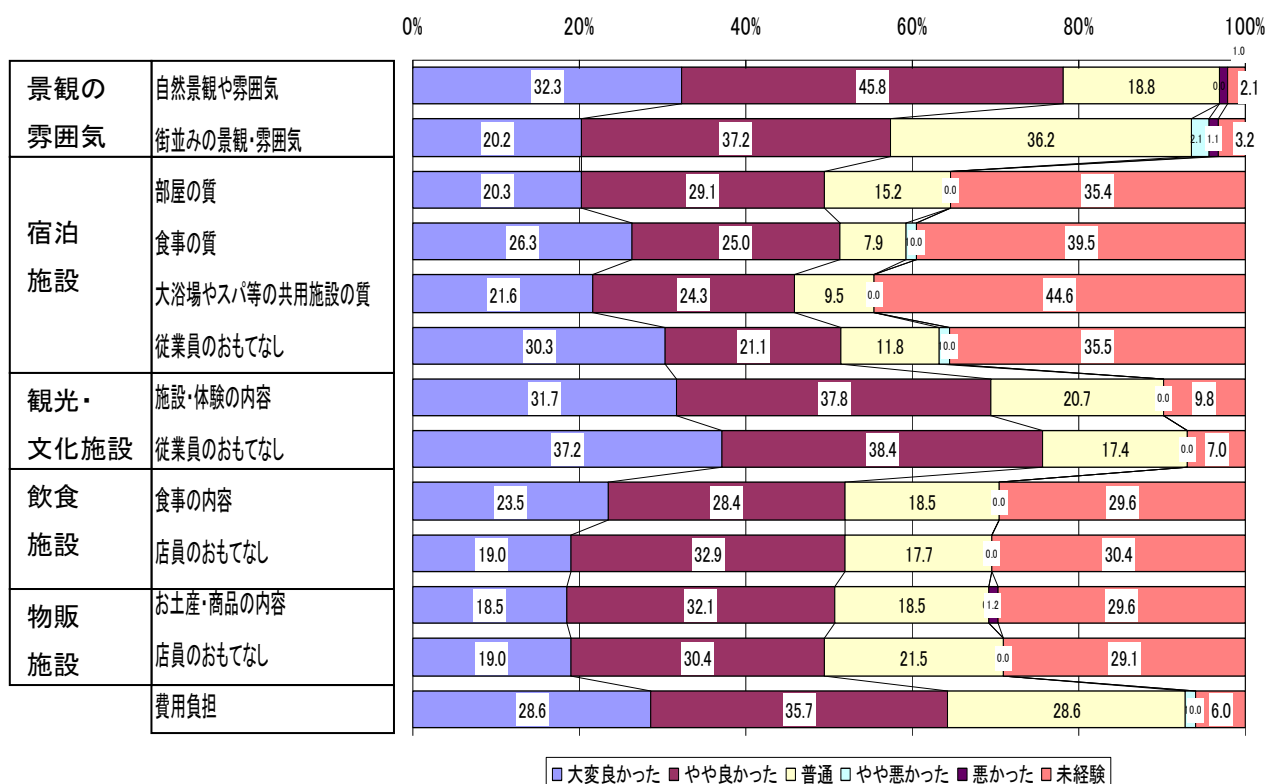
「本市での今回の滞在の満足度」についての回答は、「満足」が42.9%、「やや満足」が35.2%、「どちらでもない」が14.3%となっています。一方、「やや不満」が1.9%となっています。性別では男性の満足度が46.3%、年齢別では70歳以上が85.7%と最も高い結果となっています。一方、男性の3.7%、年齢別の20歳代の6.3%が「やや不満」が高い結果となっています。

■観光の満足度



「魚津の景観や宿泊施設等や費用の満足度」についての回答は、「観光・文化施設の従業員のおもてなし」が 37.2%と満足度が最も高く、「自然景観や雰囲気」が 32.3%と続いています。「大変良かった」と「やや良かった」を加えた回答では、「自然景観や雰囲気」が 78.1%と最も高く、「観光・文化施設の従業員のおもてなし」(75.6%)、「施設・体験の内容」(69.5%)「費用負担」(64.3%)となっています。

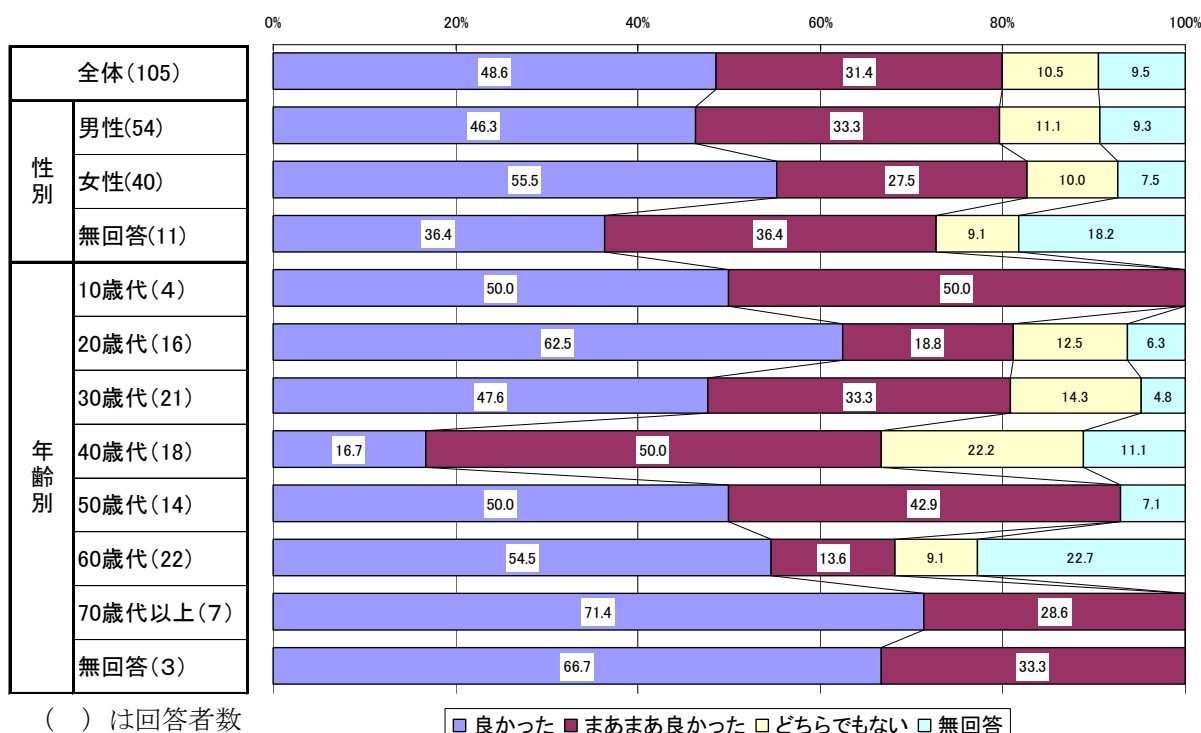
■景観や宿泊施設等や費用の満足度



※観光・文化施設・・・水族館や埋没林博物館等を指します。

「市民の対応(おもてなし)」についての回答は、「良かった」が 48.6%、「まあまあ良かった」が 31.47%、「どちらでもない」が 10.5%となっています。一方「あまり良くない」「良くない」との回答はありませんでした。性別では女性の「良かった」が 55.5%、年代別では 70 歳以上が 71.4%と最も高い結果となっています。

■市民の対応(おもてなし度)



() は回答者数

■良かった ■まあまあ良かった □どちらでもない □無回答

(注) 「あまり良くない」「良くない」の回答なし

今回の調査結果から、「観光に関する満足度」及び「市民のおもてなし度」に対する満足との回答は共に 40%を越えています。50%に達していない結果となりました。

特に、20 歳代の 6.3%及び 60 歳代の 4.5%の方が「本市の観光にやや不満」と回答しており今後の課題となります。

今後としては、この数値を基準に、観光に従事する関係者や市民が一体となって観光に取り組み、個々の観光施設や市の景観、旅行費用等の満足度や市民のおもてなし度の向上を図りながら、観光全体の満足度の向上に努めていくことが重要な課題となります。

今後本調査については、一年を通じ、季節ごと継続的に行っていくこととします。

(4) 魚津市の観光の課題

全国や本市の観光の動向や現状を踏まえ、観光の課題を次のように整理しました。

■おもてなしの向上、観光客の受入基盤の充実

観光客入込数は、概ね増加傾向であり、宿泊数も増加傾向となっています。しかし、少子高齢社会が進展している現在、交流人口の増加を図ることが重要と言えます。

また、旅行形態が団体から個人グループ化、少人数化へと変化し、観光目的の多様化が見られる中で、市民が様々な場面で観光客と接する機会が増加してきます。

市民が観光客に対し、温かく迎える気持ちを持って、心のこもったおもてなしをすることは、本市のイメージアップやリピーター（魚津ファン）の獲得に繋がると考えられます。そうしたことから観光関係者のみならず、市民一人ひとりのおもてなしの意識の向上が重要となります。また、観光ガイドや観光情報の一元化の機能を有した観光案内の窓口となる観光案内所の充実、外国人旅行者の増加への対応といった、観光客の受入基盤の充実が課題と言えます。

■ 観光資源・地域資源を活かした魅力向上への取り組み

本市には、三大奇観の蜃気楼、ほたるいか群遊海面、埋没林をはじめ、豊かな自然や戦国の城跡、神社仏閣などの歴史的・文化的遺産等の施設並びに水族館、埋没林博物館などの博物館、ミラージュランド、海の駅蜃気楼等のレジャー物販施設等、多彩な観光資源があります。ところが私達が考えている以上に、県外の方に伝わっていないということが調査結果から見えてきました。

そのために豊かな自然を満喫できる、観光客のニーズに合った体験メニューや「天地人」効果を一過性のものに終わらせない歴史好きのためのメニューといった、誘客ターゲットを絞り込んだ観光メニュー開発に取り組むなど、本市の多種多様な観光資源の魅力向上に努める必要があります。

■魚津らしさを活かしたブランドの確立

豊富な海の幸や里の幸などの食資源と多くの宿泊施設や飲食店街の共存は、本市の最大の魅力であり、観光客が本市を訪れる大きな要素です。

調査結果から興味度が高い「蜃気楼」や「ベニズワイガニ」をはじめとする海産資源をはじめとする既存ブランドの魅力を磨き上げると共に、新たな資源のブランド化を進めることが重要です。そうしたブランド化された資源と宿泊施設の連携（食と泊の連携）した観光の推進に取り組むことが重要です。

■広域連携による誘客促進

平成26年度の北陸新幹線開通により、観光客やビジネスマンなどの交流の活性化が期待されていますが、一方で通過地点となることも危惧されます。本市は、「黒部峡谷」と「立山黒部アルペンルート」の間に位置していることから、県東部エリアでの観光の回遊性に優れており、こうした利点を踏まえ、周辺の魅力的な観光地を結ぶ広域観光の中継地点としての立地を活かすことが重要です。

本市は、近隣市町と広域観光に取り組んでおり、広域観光に関わる観光事業者や観光関係団体、行政等がより一層連携を強化して誘客に取り組むことが重要な課題と言えます。また、観光の広域化に伴い、ワンストップサービス機能を有する組織の形成も必要となってきます。

■プロモーションの強化

観光客のニーズや情報技術の進展による情報入手方法が多様化する中で、情報量が増大し、他の情報に本市の情報が埋没してしまうことが予想されます。年齢や性別、旅行の目的、旅行形態、居住エリア等の違いによるターゲットを意識した多様な情報発信を行うことが重要な課題と言えます。

また主要都市を中心に、効果的なプロモーション活動を行うことも重要となります。

第3章 観光振興の戦略

1. 基本方針・目標

(1) 基本方針

前章までの調査結果や課題等を踏まえ、本計画の基本方針を次のとおり設定します。

- ・本市に訪れる人々に対し、おもてなしの心で迎え、満足してもらいリピーター(魚津ファン)の増加を図ります。
- ・本市の豊かな自然資源や歴史・文化資源などを観光資源として活かします。
- ・本市の魅力ある特産や特性を観光客に満喫して頂くことを創造します。
- ・広域観光ネットワークや交流を通じた滞在型観光の推進と観光PRの充実を図ります。

(2) 目標

上記の基本方針を達成するための計画期間中における目標を次のとおり設定します。

■目標 1

| 指標 | 現状値 (平成 22 年) | 目標値 (平成 28 年) |
|--------|------------------|------------------|
| 観光客入込数 | 1, 4 6 4 千人 | 1, 9 5 0 千人 |

■目標 2

| 指標 | 現状値 (平成 22 年) | 目標値 (平成 28 年) |
|------|------------------|------------------|
| 宿泊者数 | 2 2 3 千人 | 2 5 0 千人 |

■目標 3

| 指標 | 現状値 (平成 23 年度) | 目標値 (平成 28 年度) |
|---------|-------------------|-------------------|
| 観光客の満足度 | 4 2 . 9 % | 6 0 . 0 % |

2. 戦略の内容(本ページは、A3 横で)

観光の目的や形態の変化、魚津市の観光に関する意識や課題等を踏まえ、総合的かつ戦略的に観光振興を進めるにあたって、4つの基本戦略に取り組みます。

基本戦略の中で、特に重点的に取り組むべき事業を重点プロジェクトとして設定します。行政だけでは実施できない事業が多くあり、観光協会を中心に関係事業者や市民と協働して事業を実行していきます。

| 観光振興計画 体系図 | | | |
|------------------------------------|-----------------------|---|---|
| 【基本戦略】 | 【基本施策】 | 【具体的取り組み】 | 【重点プロジェクト】 |
| 【基本戦略1】 おもてなしの 充実 | ①観光案内の充実とおもてなしの向上 | ・観光客のニーズに対応した観光案内の充実 ・観光客の受け入れ体制の充実 ・観光ガイドの育成・活動機会の創出 | ◆観光ガイド育成事業 ①観光ガイドマニュアルの整備 ②観光ガイド育成講座の開催 ③専門ガイドの育成 ④市民のおもてなしの意識の向上 |
| | ②観光客受け入れ基盤の充実 | ・観光案内板をはじめとするサインシステムの充実 ・観光客の回遊性の向上 | |
| 【基本戦略2】 観光資源の 活用 | ①観光資源の有効活用 | ・地域資源の発掘、魅力向上 ・豊かな自然や歴史・文化を体感できる体験観光の推進 | ◆片貝川上流域自然体験事業 ①洞杉周辺散策プラン造成 ②僧ヶ岳県立自然公園等、山岳エリアでの体験プランの造成 |
| | ②観光関係団体への支援の充実、連携強化 | ・観光イベントの開催・支援による賑わいの創出 ・観光協会の基盤強化と支援の充実 ・観光施設、観光事業者及び観光関係団体の連携強化、促進 | ◆海を満喫！！事業 ①漁業体験プランの造成 ②宿泊と漁業体験プランの組み合わせによる観光プランの造成 ◆歴史まめぐり事業 ①歴史的・文化的建造物、史跡めぐり体験プランの造成 ②山城散策プランの造成 |
| 【基本戦略3】 魚津ブランド の創出 | ①特産物のブランド化、魅力向上の推進 | ・農産品や海産物のブランド化の推進 | ◆特産品ブランド化事業 ①既存ブランドのブラッシュアップ ②新たな資源のブランド化 ◆居酒屋ストリート事業 ①旬の食材を使ったメニュー開発、提供 ②ホテルとの連携による集客の促進 |
| | ②魚津の特性を活かした事業の推進 | ・食と泊が連携した観光事業の推進 (魚津の食材の活用の推進(地産地消)) | |
| 【基本戦略4】 広域観光・ プロモーションの 推進 | ①広域観光の推進 | ・広域観光ネットワークと連携活動の強化・コンベンション開催支援の強化 | ◆にいかわ観光圏事業 ①滞在型・体験型観光推進事業 ②食の魅力アップ・連携促進事業 ③観光振興プロモーション事業 ④観光地域づくりプラットフォーム事業 |
| | ②観光プロモーションの推進・情報発信の充実 | ・マーケティングによる客層・ニーズ調査、分析 ・戦略的プロモーションの推進 ・情報技術を活用した情報発信 | |

基本戦略 1

おもてなしの充実

基本施策① 観光案内の充実とおもてなしの向上

観光客の多様なニーズに対応できるよう、観光関連事業者や市民と連携しながら、観光案内の充実を図ります。

観光客を見かけたら積極的に声をかけるなど、“心に残るおもてなし”で観光客を迎え入れられるよう、市全体のおもてなしの向上に取り組みます。

【具体的取り組み】観光客のニーズに対応した観光案内の充実

最近では“まち”そのものの魅力に触れる「まちあるき観光」に対するニーズが高まるなど、観光客は様々な観光目的で国内外から来訪されます。そのため、観光客のニーズに対応した観光パンフレットやマップ、情報通信機器を活用した案内ツールを充実させるとともに、観光ボランティアや蜃気楼同好会、歴史同好会等、市民のボランティア活動や、店舗・商店街等と連携し、観光案内の充実を図ります。

また年間を通じて多くの利用がある駅前観光案内所を観光情報拠点として、観光情報の充実に努め、施設機能の向上を図ります。

《主な事業内容》

- ・観光パンフレット・ポスターの作成
- ・各種団体との観光案内の連携強化
- ・観光案内所運営の支援

【具体的取り組み】観光客の受け入れ体制の充実

旅行業者やホテルをはじめとする観光関連事業者と市民が連携し、観光情報やおもてなしに関するセミナーの開催等を通じて観光に携わる人材の育成に取り組みます。また、外国人観光客への対応として、多言語対応をはじめ外国人の文化やニーズの理解に基づくおもてなし機運の醸成が必要となっています。観光関連事業者等との連携を深め、地域が一体となって、外国人観光客を温かく迎え入れられる受入体制の充実に取り組みます。

《主な事業》

- ・修学旅行等、教育観光メニュー造成と受入体制講座の開催
- ・多言語観光パンフレットの作成

【具体的取り組み】観光ガイドの育成・活動機会の創出

観光ボランティアガイドが観光ガイドを担っていますが、安定した活動を実施するためにも観光ガイド組織の基盤強化に努めます。「観光ガイド育成講座」の開催等を通じて、ガイドの育成に取り組むとともに、活動機会の創出とガイドの内容や質の向上を図ります。

《主な事業内容》

- ・観光ガイド育成事業（重点プロジェクト）
- ・観光ガイドグループへの助成

◆基本施策の指標

| 項目 | 現状値 (平成 22 年度) | 目標値 (平成 28 年度) |
|--------------------------------------|-------------------|-------------------|
| 観光案内所利用者数(23 年度) | 9, 512人 | 12, 000人 |
| 観光ガイド登録者数 | 13名 | 40名 |
| 観光ガイドグループ活動数 | 13件 | 50件 |
| 「市民のおもてなし」に関し、満足している観光客の割合(23 年度) | 48. 6% | 60. 0% |
| 日頃から、おもてなしの心で観光客に対し接している市民の割合(23 年度) | 43. 1% | 60. 0% |



魚津駅前観光案内所

重点プロジェクト

(事業名) 観光ガイド育成事業

| | | | | | | |
|----------|--|-----|-----|-----|-----|-----|
| 事業内容 | <p>①観光ガイドマニュアルの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな観光内容の追加等マニュアルの整備 ・情報技術端末の活用 <p>②観光ガイド育成講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光ガイドの発掘 ・カリスマ観光ガイド等による育成講座の開催 ・観光ガイドグループの支援 <p>③専門ガイドの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員等の活用による分野別の専門ガイド育成の講座の開催 <p>④市民のおもてなしの意識の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの心で接するPR 活動「ようこそ魚津へ」 ・観光資源の再発見ツアーの実施 ・観光PR サポーターの活用 | | | | | |
| 主たるターゲット | 市民、各種活動団体、観光ボランティア | | | | | |
| 組織主体 | 観光協会、ホテル旅館組合、タクシー協会、自治会、観光ボランティア、シルバー人材センター、魚津市 外 | | | | | |
| スケジュール | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| | ①観光ガイドマニュアルの整備 | ■ | ■ | ■ | | |
| | ②観光ガイド育成講座の開催 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ③専門ガイドの育成 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | ④市民のおもてなしの意識の醸成 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |

基本施策② 観光客受け入れ基盤の充実

観光客が安心して快適に本市での滞在を楽しむために、観光案内や交通アクセス、滞在環境など、利便性や快適性を高める取組みを強化します。引き続き増加が予想される外国人観光客に対応するため、サインシステムをはじめとする受入基盤の整備を推進します。

【具体的取組み】観光案内板をはじめとするサインシステムの充実

観光客の目線に立ち、初めて魚津市を訪れた際にも、一人で安心して観光を楽しむことが出来るよう、観光案内板をはじめ、誘導看板や公共交通機関における案内表示など、わかりやすいサインシステムの充実に取り組んでいきます。

《主な事業内容》

- ・観光案内看板の整備
- ・多言語標記の推進

【具体的取組み】観光客の回遊性の向上

観光ニーズの多様化や個人旅行の拡大などへの対応のため、観光施設間の回遊性を確保する二次交通の整備を推進します。

具体的には、市民バスをはじめとする公共交通機関や電動アシスト付自転車貸出事業（レンタサイクル事業）など、自然環境にも配慮した観光客の回遊性及び利便性の向上を図ります。

また、観光タクシーの充実や団体向け大型バスの駐車場整備についても検討していきます。

《主な事業内容》

- ・レンタサイクルの運用
- ・市民バス等の運行
- ・観光タクシーの充実

◆基本施策の指標

| 項目 | 現状値 (平成 22 年) | 目標値 (平成 28 年) |
|--------------------|------------------|------------------|
| 外国人宿泊者数 | 1, 137人 | 1, 200人 |
| レンタサイクル利用台数(23 年度) | 454台 | 500台 |

基本戦略 2

観光資源の活用

基本施策① 観光資源の有効活用

本市には、観光資源となりうる地域資源が多く存在しており、これらの資源を発掘し磨き上げていきます。また豊かな自然を体感できる“体験型観光”の需要が近年高まっており、歴史を感じる神社や街並みの散策など魚津らしいメニューの造成に取り組みます。

【具体的取り組み】 地域資源の発掘、魅力向上

洞杉群や魚津の水循環といった自然環境等、地元根付いているがあまり広く知られていない資源に光をあてることで、新たな観光資源となる可能性があります。素材調査等、新たな観光資源の発掘に努めます。また、たてもん祭りやせり込み蝶六といった祭り・踊り、しんきろうマラソンや全日本大学女子野球選手権大会といったスポーツイベント等、観光資源として市民の間で認められているものも更に磨き上げることで、全国区の観光資源となるよう取り組みます。

《主な事業内容》

- ・魚津の水循環のPR
- ・蜃気楼出現の予測
- ・全日本大学女子野球選手権大会のPR

【具体的取り組み】 豊かな自然や歴史・文化を体感できる体験観光の推進

豊かな自然、歴史・文化やその街並み、これらの素晴らしい観光資源を体感できるメニューを創出し、集客に努めます。そのため、農山漁村での体験型観光事業の創出を図ると共に、歴史的建造物や神社仏閣や寺院を巡る、まち巡り体験プランの造成に取り組みます。

《主な事業内容》

- ・片貝川上流域自然体験事業（重点プロジェクト）
- ・海を満喫！！事業（重点プロジェクト）
- ・ふれあいファーム、ひまわり大作戦「収穫祭」の開催、とやま帰農塾の開催
- ・歴史まちめぐり事業（重点プロジェクト）

重点プロジェクト

(事業名) 片貝川上流域自然体験事業

| | | | | | | |
|-----------------|--|-----|-----|-----|-----|-----|
| 事業内容 | ①洞杉周辺散策プランの造成 ・散策コースの整備（案内板の設置等） ・文化財学習パンフレットの作成 ・散策コース情報の発信、PR 活動 ②僧ヶ岳県立自然公園等、山岳エリアでの体験プランの造成 ・道路や沿路、コースの環境の整備 ・体験プランの設定 ・エリア情報の発信、PR 活動 ③片貝山ノ守キャンプ場の活用促進 ・※ビジターセンター機能の充実 ④水利施設の見学学習プランの造成 ・円筒分水槽、水力発電施設等の見学 | | | | | |
| 主たるターゲット | 日帰り観光客、宿泊観光客（主に中高年齢層） | | | | | |
| 組織主体 | 観光協会、体育協会、森林組合、タクシー協会、観光ボランティア、魚津市 外 | | | | | |
| スケジュール | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| | ①洞杉周辺散策プランの造成 | | | | | |
| | ②僧ヶ岳県立自然公園等、山岳エリアでの体験プランの造成 | | | | | |
| | ③片貝山ノ守キャンプ場の活用促進 | | | | | |
| | ④水利施設の見学学習ツアーの造成 | | | | | |

※ビジターセンター・・・国立公園や国定公園などにおいて、その自然（地形・地質・動植物）などの情報を展示・解説し、公園の利用案内を行っている施設のこと。

重点プロジェクト

(事業名) 海を満喫！！事業

| | | | | | |
|-------------------------------|---|-----|-----|-----|-----|
| 事業内容 | <p>①漁業体験プランの造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海の釣堀体験プラン ・定置網体験プラン ・魚のさばき方、料理講習（教室）プラン <p>②宿泊と漁業体験プランとの組み合わせによる観光プランの造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行関連ホームページへのプラン掲載によるPR の実施 ・モニターツアーの実施 | | | | |
| 主たるターゲット | 日帰り観光客、宿泊観光客（主にファミリー層） | | | | |
| 組織主体 | 観光協会、漁業協同組合、観光ボランティア、ホテル旅館組合、魚津市 外 | | | | |
| スケジュール | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| ①漁業体験プランの造成 | ■ | | | | |
| ②宿泊と漁業体験プランとの組み合わせによる観光プランの造成 | ■ | ■ | | | |

重点プロジェクト

(事業名) 歴史まちめぐり事業

| | | | | | | |
|----------|--|-----|-----|-----|-----|-----|
| 事業内容 | ①歴史的・文化的建造物、史跡めぐり体験プランの造成 <ul style="list-style-type: none"> ・寺の歴史や座禅体験等の調査 ・お寺めぐりコース設定 ・魚津城・米倉等を中心とした史跡めぐりコースの設定 ・パンフレットの作成、統一解説看板の設置 ②山城散策プランの造成 <ul style="list-style-type: none"> ・散策コース及びパンフレットの作成 | | | | | |
| 主たるターゲット | 日帰り観光客、宿泊観光客（主に中高年齢層） | | | | | |
| 組織主体 | 観光協会、観光ボランティア、各施設、魚津市 外 | | | | | |
| スケジュール | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| | ①歴史的・文化的建造物、史跡めぐり体験プランの造成 | ■ | ■ | | | |
| | ②山城散策プランの造成 | ■ | ■ | ■ | | |

基本施策② 観光関係団体への支援の充実、連携強化

じゃんとい魚津まつりや産業フェア（〇〇（まるまる）魚津）等、市全体で開催されるイベントや、のろし祭り、漁火まつり等、地域や団体に自主的に開催されるイベントへの支援の強化に努めます。また多様な観光イベントと集客施設との連携の強化の支援や観光の中心的役割を担う観光協会の基盤強化、支援の充実を図ります。

【具体的取り組み】観光イベントの開催・支援による賑わいの創出

1970年から続く夏の風物詩“じゃんとい魚津まつり”や魚津産業フェアなどの大規模イベントや、のろし祭り等の地域イベントを、民間活力などを活用して開催し、年間を通じた賑わいづくりと交流の活性化を図ります。

また地域が主体となって開催されるイベントに対しても、運営やPR活動等に関し、自主性を大切にした支援を行い、継続性のあるイベント開催の促進を図ります。

《主な事業内容》

- ・観光イベントへの支援（じゃんとい魚津まつり、〇〇魚津等への補助）

【具体的取り組み】観光協会の基盤強化と支援の充実

観光イベントや観光PRに中心的な役割を担う観光協会は、観光施設や観光事業者、観光関係団体、行政及び市民を結ぶ観光の核となる重要な機関です。

そうしたことから、観光協会の基盤強化は最重要課題であり、観光協会の支援は必要不可欠です。*観光推進員の設置や運営支援等、総合的支援の強化を図ります。

《主な事業内容》

- ・観光協会の運営補助

※観光推進員・・・市が設置する観光事業従事者。観光協会や駅前観光案内所で観光事業の運営の役割を担います。

【具体的取り組み】観光施設、観光事業者及び観光関係団体の連携強化、促進

観光施設、博物館、観光事業者及び観光関係団体が連携していくことが効率的で効果的な観光の振興には不可欠であり、文化施設等で開催される企画展等を通じて観光施設間の連携を促進するとともに、ニーズに応じた施設運営を促進し、滞在型観光を推進します。

また個々の民間施設や各種団体の活動を有機的につなげ、情報発信をはじめとする様々な活動を官民が共同して行うことができるよう連携の強化、促進を図ります。

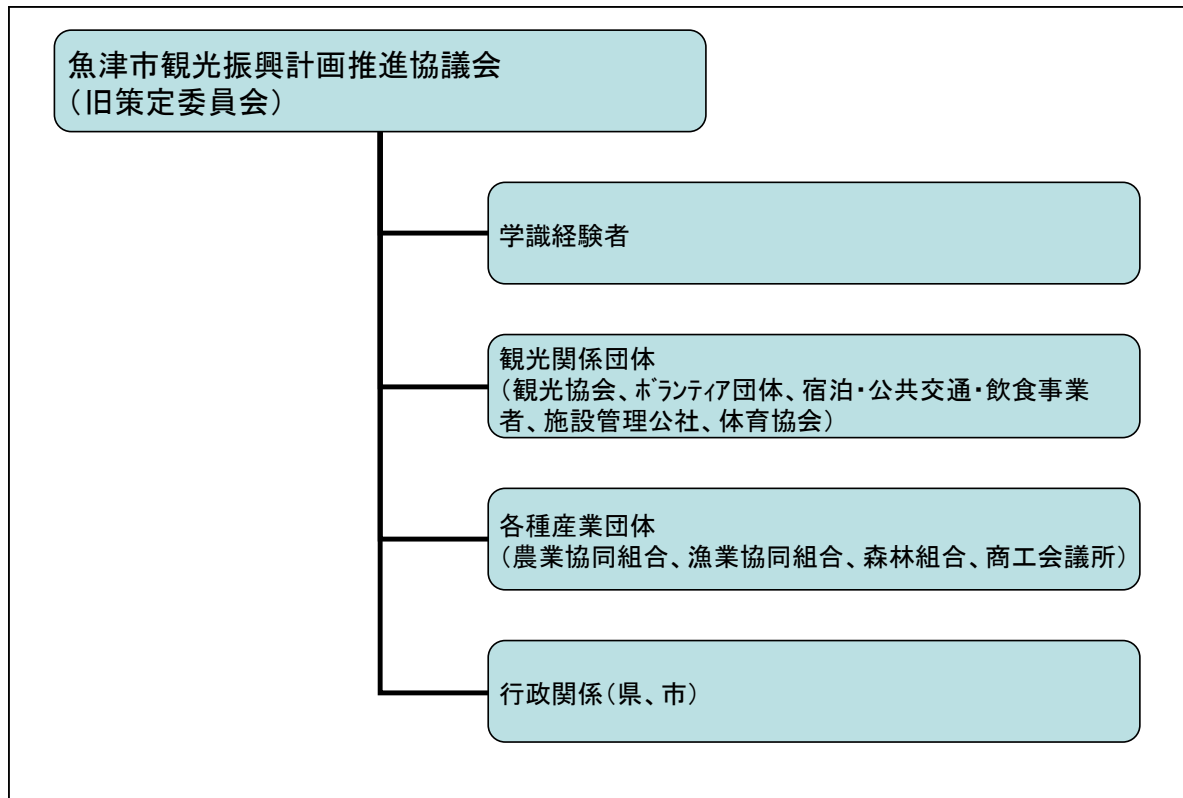
《主な事業内容》

- ・※観光振興計画推進協議会の開催

※観光振興計画推進協議会

本市の観光を総合的かつ計画的に推進し、本市の活性化を図るため、観光振興計画策定委員会を基本に、推進協議会を立ち上げます。「魚津市観光振興計画推進協議会」のもと、各団体が連携を図りながら、観光振興計画の進捗を把握しつつ、推進していきます。

(体系図)



基本戦略3

魚津ブランドの創出

基本施策① 特産物のブランド化、魅力向上の推進

日本海に面しており、かつ肥沃な土地が広がっている本市では、海産物や農産物、果樹等が豊富に収穫されます。すでに地域および県内では著名なものもありますが、それらに更に強力なブランドイメージを持たせ、全国へと発信していきます。

【具体的取り組み】農産品や海産物のブランド化の推進

観光客はその土地にしかないものを求める傾向が強く、魅力ある魚津ブランドの構築はとても重要です。

海産物や農産品等、素材そのものの魅力向上に加え、それらの素材を活かした新たな加工品の開発も促進するなど、様々な形態での魚津ブランドの魅力を発信していきます。

特に、B級グルメやご当地グルメ、ヘルシーグルメ等、食が多く集客や大きな経済効果を生んでいることから、食のブランド化に取り組んでいきます。

また観光客が持ち帰るお土産は、知名度の向上に大きな役割を果たすことから、ブランド化された特産品を活用したお土産の開発支援を推進します。

《主な事業内容》

- ・特産品ブランド化事業（重点プロジェクト）
- ・魚津のうまい水の販売の促進
- ・地場産食材使用の認定
- ・JA魚津農業祭の開催
- ・農産物直売加工施設整備の支援
- ・魚津のお土産開発の取り組みの促進

重点プロジェクト

(事業名) 特産品ブランド化事業

| | | | | | | |
|-----------------|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 事業内容 | <p>①既存ブランドのブラッシュアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寒ハギ如月王、新川ダイコンやねぎたん、果樹等のブランド力向上 ・全国展開に向けたPR 活動 ・飲食店でのメニュー開発の検討 <p>②新たな資源のブランド化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越中魚津バイ貝をはじめとする海産物のブランド化 ・ブランド化に向けた調査、基本方針の検討 ・メニューの検討等 ・市内外への認知度アップに向けたPR 活動 | | | | | |
| 主たるターゲット | 日帰り観光客、宿泊観光客、市民 | | | | | |
| 組織主体 | 農業協同組合、漁業協同組合、観光協会、飲食業組合、魚津市 外 | | | | | |
| スケジュール | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| | ①既存ブランドのブラッシュアップ | ■ | ■ | ■ | | |
| | ②新たな資源のブランド化 | | ■ | ■ | ■ | ■ |

基本施策② 魚津の特性を活かした事業の推進

本市の大きな特徴として、「黒部峡谷」と「立山黒部アルペンルート」の間に位置した立地条件とビジネスから温泉旅行まであらゆる宿泊ニーズに対応できるホテル・温泉旅館施設が整備されていることです。その宿泊可能人数は 1,700 人を超えており、その中間点の利点を活かした拠点としての宿泊地としての活用を図ります。

また駅周辺の商店街には飲食店が多数建ち並び、豊かで新鮮な海産物や農産品を中心とした地元の食材を存分に味わえる環境があります。このような観光インフラ等の特性を活かした観光の事業化を図ります。

【具体的取り組み】食と泊が連携した観光事業の推進

(魚津の食材の活用の推進(地産地消))

宿泊施設と飲食店が有機的に連携し、魚津の特性を満喫していただけるサービスを開発します。特に、出張ビジネスマンへの働きかけを強化し、全国へ魚津の特性が発信される仕組みの構築を図ります。

季節ごと、旬の食材を、飲食店が趣向を凝らした提供を行うなど、本市の食材を活かした地産地消の取り組みを進め、誘客に努めます。

《主な事業》

- ・居酒屋ストリート事業（重点プロジェクト）
- ・※食と地域の交流の促進事業による食と泊が連携した体験観光プランの造成

※食と地域の交流促進事業

農林水産省が提唱する6次産業化推進による農村の活性化と経済効果を目的に、農山漁村での食を中心とした体験と観光を組み合わせた事業の創出を行う。本事業主体は、「食と地域の交流促進協議会」（会長：観光協会長）とし、生産者、観光事業者等で構成。

重点プロジェクト

(事業名) 居酒屋ストリート事業

| | | | | | | |
|----------|---|-----|-----|-----|-----|-----|
| 事業内容 | <p>①旬の食材を使ったメニューの開発、提供（地産池消の促進）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旬の食材カレンダーの作成 ・旬の食材を使ったメニュー開発 ・旬の食材料理をテーマとしたキャンペーンの実施 ・景観の演出（統一看板、のぼり等の作成） <p>②ホテルとの連携による集客の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊ビジネス客を対象とした飲食クーポンの検討 | | | | | |
| 主たるターゲット | ビジネスマン、日帰り観光客、宿泊観光客、市民 | | | | | |
| 組織主体 | 観光協会、ホテル旅館組合、飲食業組合、魚津商工会議所、魚津市、外 | | | | | |
| スケジュール | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| | ①旬の食材を使ったメニューの開発、提供 | | | | | |
| | ②ホテルとの連携による集客の促進 | | | | | |

基本戦略 4

広域観光・プロモーションの推進

基本施策① 広域観光の推進

富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏（2009年設立）や新川観光開発協議会（事務局：JR魚津駅）をはじめ、近隣市町村や県等との連携強化により、観光に必要な機能の充実、強化を推進します。それぞれの地域の特色を明確に打ち出し、滞在型の観光誘客を図っていきます。

【具体的取り組み】 広域観光ネットワークと連携活動の強化

平成26年の北陸新幹線開通により都市圏からの観光客誘致が更に見込めることから、にいかわ観光圏において整備を進めている観光地域づくり^{※1}プラットフォームでの活動や新川観光開発協議会における観光PR活動の促進を図っていきます。宿泊施設が充実している魚津の特性を活かして、長期滞在型観光の誘致施策として、^{※2}教育旅行や広域観光ルートの開発とツアープラン等の提案、情報発信を行っていきます。

《主な事業》

- ・にいかわ観光圏事業（重点プロジェクト）
- ・新川地域観光開発協議会や^{※3}北陸国際観光テーマ地区協議会でのPR活動

※1 観光地域づくりプラットフォーム・・・旅行者に対し、旅行に関する情報発信・販売・諸手続き等をワンストップで行う総合窓口機関

※2 教育旅行・・・就学旅行や学習体験やセミナーへの参加等、教育的活動を絡めた旅行。

※3 北陸国際観光テーマ地区協議会・・・北陸三県の自治体で構成する協議会。各県に事務局があり、主に国際観光PR活動を実施。

◆基本施策の指標

| 項目 | 現状値 (平成22年) | 目標値 (平成28年) |
|------------|----------------|----------------|
| 新川地域観光客入込数 | 5,149千人 | 6,200千人 |
| 新川地域内平均宿泊数 | 1.5日 | 1.84日 |

【具体的取り組み】コンベンション開催支援の強化

にいかわ観光圏域の中でも、本市には、交流人口の拡大や地域活性化に大きく寄与するコンベンションを開催できるインフラが整備され、宿泊施設も充実しています。会議や企業セミナー、合宿等の開催に向け、富山コンベンションビューローとも連携し、広く情報発信等誘致活動を行います。また、飲食店情報の提供等アフターコンベンションの充実にも取り組みます。

《主な事業》

- ・コンベンション開催支援の補助
- ・コンベンションタクシーの補助

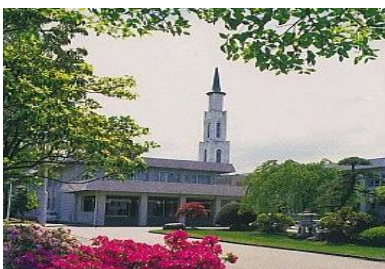
◆基本施策の指標

| 項目 | 現状値 (平成 22 年度) | 目標値 (平成 28 年度) |
|------------|-------------------|-------------------|
| コンベンション開催数 | 9回 | 15回 |

市内の主な
コンベンション施設



ありそドーム



新川学びの森 天神山交流館



総合体育館・室内温水プール



新川文化ホール



桃山運動公園

重点プロジェクト

(事業名) にいかわ観光圏事業

| | | | | | | |
|----------|---|-------|-----|-----|-----|-----|
| 事業内容 | ①滞在型・体験型観光推進事業 ・競り見学と市場で朝食事業等 ②食の魅力アップ・連携促進事業(食のイベント・パワーアップ事業) ③観光振興プロモーション事業 ・羽田・富山空港、首都圏、鉄道車両広告での観光宣伝活動 ④観光地域づくりプラットフォーム事業 ・着地型旅行商品の開発 ・地域内観光情報の集約 ・*認定観光案内所の運営 | | | | | |
| 主たるターゲット | 日帰り観光客、宿泊観光客、市民 | | | | | |
| 組織主体 | 一般社団法人 富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏協議会 | | | | | |
| スケジュール | | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
| | ①滞在型・体験型観光推進事業 | ■■■■■ | | | | |
| | ②食の魅力アップ・連携促進事業 | ■■■■ | | | | |
| | ③観光振興プロモーション事業 | ■■■■■ | | | | |
| | ④観光地域づくりプラットフォーム事業 | ■■■■■ | | | | |

※認定案内所・・・観光圏事業で整備した観光案内所。

にいかわ観光圏には、黒部市と魚津市(駅前観光案内所)の2箇所あります。

基本施策② 観光プロモーションの推進・情報発信の充実

本市の魅力を効果的に発信するために、特色や魅力が十分に伝わる戦略的なプロモーションを実施します。ターゲットを意識した効果的なプロモーションに加え、民間事業者と連携しながら継続的に観光情報が発信される仕組みづくりに努め、情報発信力を強化していきます。

【具体的取り組み】マーケティングによる客層・ニーズ調査、分析

継続的に観光施設や魚津駅前観光案内所、宿泊施設での観光客等来訪者のニーズや満足度調査を実施します。観光客が求めている観光資源や観光情報を調査し、新たな観光サービスの開発やインフラ整備の基礎情報とします。

《主な事業》

- ・観光客満足度の調査、分析
- ・モニターツアー実施による調査、分析

【具体的取り組み】戦略的プロモーションの推進

マーケティング調査等により得られる情報により、誘客ターゲットの特性を踏まえて、旅行商品開発の働きかけや大都市圏での観光PR やTV番組の活用等メディアを活用した話題性のある効果的なPR を行います。

《主な事業》

- ・TV、新聞等への広告の掲載
- ・屋気楼大使の活用
- ・イメージキャラクターの活用
- ・JR 駅や空港等での観光PR の実施



イメージキャラクター
「ミラたん」

【具体的取り組み】 情報技術を活用した効果的な情報発信

情報技術の進展、個人・グループ旅行の増加により、観光情報をインターネットで収集する人の割合が大幅に増加しています。全国、全世界からアクセスできるインターネットの利点を十分に活かし、分かりやすく楽しいホームページや※ARサイト等、新たな情報技術を活用した情報提供方法により、観光に関する情報の充実に努めます。

《主な事業》

- ・観光情報サイトの運営
- ・動画観光PR 映像の作成、動画サイトの活用

※AR・・・Augmented Realityの略。

ありのままに知覚される情報に、デジタル合成などによって作られた情報を付加し、人間の現実認識を強化する技術のこと。最近ではスマートフォンなどの携帯デバイスにこの技術を応用しようという試みが始まっている。

◆基本施策の指標

| 項目 | 現状値 (平成 23 年) | 目標値 (平成 28 年) |
|-------------------------|------------------|------------------|
| 魚津市観光協会ホームページ(HP)アクセス件数 | 2, 170, 308件 | 3, 000, 000件 |

第 4 章 推進体制

1. 市民、観光事業者・観光関係団体・観光協会・市の役割

本計画を推進していくためには、市民やボランティア団体、観光事業者、観光施設、宿泊施設、その他各専門団体がお互いに密に連携を図り進めていかなければなりません。そのため、それぞれが期待される役割を担うことが望まれます。

【各主体に期待される主な役割】

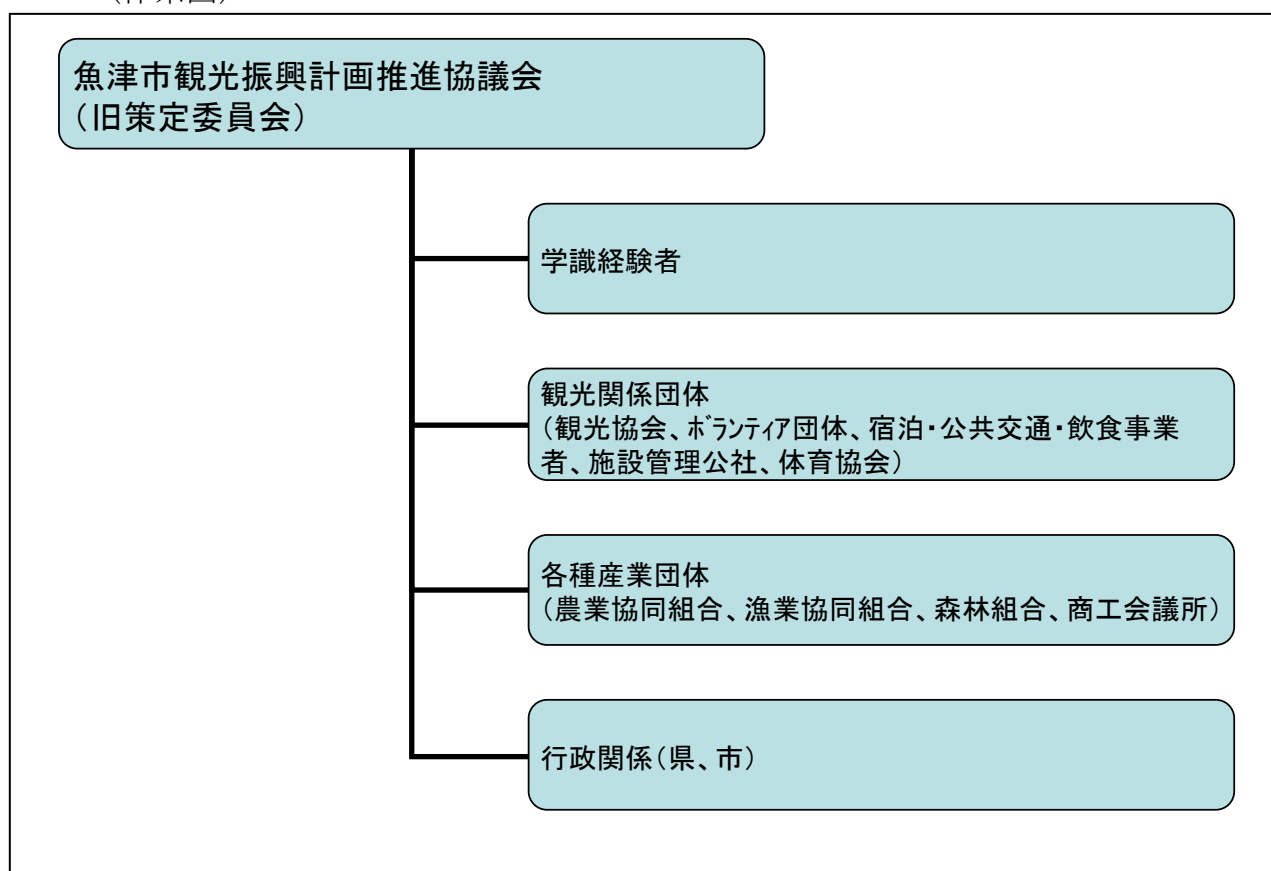
| | |
|--------------|---|
| 市民 | <ul style="list-style-type: none"> ○観光に関する理解と関心 ○身近な魚津の魅力に対する気付きと発信 ○おもてなしの心の発揮と交流参加 ○地域における観光の取り組みへの主体的な参画 |
| 観光事業者、観光関係団体 | <ul style="list-style-type: none"> ○良質なサービスの提供 ○おもてなし水準の向上 ○観光施設の魅力向上 ○魚津の魅力の創出と掘り起こし ○魚津の魅力に関する情報収集と発信 |
| 観光協会 | <ul style="list-style-type: none"> ○魚津の魅力の創出と掘り起こし ○魚津の魅力に関する情報収集と発信 ○観光客の受入とおもてなしの充実 ○観光に関わる幅広い連携の促進と一体的な取り組みの推進 ○観光に携わる人材の育成 ○魚津が実施する観光施策との連携協力 ○観光客の実態やニーズの把握と観光施策の提言 |
| 市 | <ul style="list-style-type: none"> ○観光施策の総合的な策定 ○観光客の動向に関する調査実施 ○観光事業者、関係団体への支援と連携促進 ○観光施設の魅力向上と適切な管理運営 ○観光に関わるインフラの整備 |

2. 魚津市観光振興計画推進協議会

本計画の総合的かつ計画的な推進と進捗状況の確認等を行うため、魚津市観光振興計画推進協議会を設置します。

「魚津市観光振興計画推進協議会」のもと、各団体が連携を図りながら、本計画の進捗を把握しつつ観光施策を推進していきます。

(体系図)



第 5 章 資料編

1. 観光資源一覧

| 大分類 | 中分類 | 具体的資源 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------------|--------------------------|----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| イベント資源 | <交流イベント> | 戦国のろし祭り | | | | | | | | | | | | |
| | | 新川学びの森音楽祭 | | | | | | | | | | | | |
| | | 〇〇（まるまる）魚津 | | | | | | | | | | | | |
| | | じやんとこい魚津まつり | | | | | | | | | | | | |
| | <物販市> | 桜のページェント | | | | | | | | | | | | |
| | | 松倉もちより市 | | | | | | | | | | | | |
| | | おいで安タ市 | | | | | | | | | | | | |
| | <スポーツイベント> | 魚津の朝市 | | | | | | | | | | | | |
| | | 全日本大学女子野球選手権大会 | | | | | | | | | | | | |
| | | しんきろうマラソン | | | | | | | | | | | | |
| <イルミネーション> | 環日本海オープンin魚津ホープスカデット卓球大会 | | | | | | | | | | | | | |
| | イルミラージュuozu | | | | | | | | | | | | | |
| 特産資源 | <果物> | 西布施ぶどう | | | | | | | | | | | | |
| | | 加積りんご | | | | | | | | | | | | |
| | | 下野方梨 | | | | | | | | | | | | |
| | <花> | かのこゆり | | | | | | | | | | | | |
| | <木> | 魚津産木材 | | | | | | | | | | | | |
| | <米> | ミラージュ米 | | | | | | | | | | | | |
| | <野菜> | 新川だいこん | | | | | | | | | | | | |
| | | 新川きゅうり | | | | | | | | | | | | |
| | <工芸品> | 魚津漆器 | | | | | | | | | | | | |
| | <魚介類> | ホタルイカ | | | | | | | | | | | | |
| ベニスワイガニ | | | | | | | | | | | | | | |
| 魚津寒ハギ如月王 | | | | | | | | | | | | | | |
| バイ貝 | | | | | | | | | | | | | | |
| ゲンゲ | | | | | | | | | | | | | | |
| <加工品> | 甘エビ | | | | | | | | | | | | | |
| | かまぼこななどの水産加工品 | | | | | | | | | | | | | |
| | 弁慶蝦 | | | | | | | | | | | | | |
| 自然資源 | <北アルプスの山々> | 僧ヶ岳 | | | | | | | | | | | | |
| | | 天神山 | | | | | | | | | | | | |
| | | 雪絵（雪形） | | | | | | | | | | | | |
| | <自然公園> | 中部山岳国立公園 | | | | | | | | | | | | |
| | | 松倉県定公園 | | | | | | | | | | | | |
| | | 片貝県定公園 | | | | | | | | | | | | |
| | <植物> | 洞杉群生地 | | | | | | | | | | | | |
| | <その他> | 池の尻のミズバショウ | | | | | | | | | | | | |
| | <水> | 蛇石 | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津のうまい水 | | | | | | | | | | | | |
| | <海> | 蜃気楼 | | | | | | | | | | | | |
| | | 海底湧水 | | | | | | | | | | | | |
| | | 美しい夕日 | | | | | | | | | | | | |
| 富山湾（魚津海岸） | | | | | | | | | | | | | | |
| <川> | 片貝川の清流 | | | | | | | | | | | | | |
| | 平沢沌滝 | | | | | | | | | | | | | |
| | 早月川 | | | | | | | | | | | | | |
| | 角川 | | | | | | | | | | | | | |

| 大分類 | 中分類 | 具体的資源 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------------|-------------------|---------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| 社会資源 | <交流施設> | 片貝山荘 | | | | | | | | | | | | |
| | | 片貝山/守キャンプ場 | | | | | | | | | | | | |
| | | もくもくホール | | | | | | | | | | | | |
| | | 新川学びの森天神山交流館 | | | | | | | | | | | | |
| | | 新川文化ホール | | | | | | | | | | | | |
| | | 恋人の聖地（ミラージュベル有機海SA） | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津水族館 | | | | | | | | | | | | |
| | | ミラージュランド | | | | | | | | | | | | |
| | | 埋没林博物館 | | | | | | | | | | | | |
| | 海の駅蜃気楼（みなとオアシス魚津） | | | | | | | | | | | | | |
| | <水産施設> | 魚津港 | | | | | | | | | | | | |
| | | 経田漁港 | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津おさかなランド | | | | | | | | | | | | |
| | <公園> | 桃山運動公園 | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津総合公園 | | | | | | | | | | | | |
| | | 花の森・天神山ガーデン | | | | | | | | | | | | |
| | <スポーツ施設> | 天神山野球場 | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津市総合体育館 | | | | | | | | | | | | |
| | <博物館> | テクノスポーツドーム（ありそドーム） | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津歴史民俗博物館 | | | | | | | | | | | | |
| | <モニュメント> | アトサイトライン（桃山運動公園内） | | | | | | | | | | | | |
| | | 風の地平線—蜃気楼 | | | | | | | | | | | | |
| | <温泉> | 金太郎温泉 | | | | | | | | | | | | |
| | | 北山鉱泉 | | | | | | | | | | | | |
| | <学校> | 北陸職業能力開発大学校 | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津高校 | | | | | | | | | | | | |
| | | 新川みどり野高校 | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津工業高校 | | | | | | | | | | | | |
| | | 新川高校 | | | | | | | | | | | | |
| | <飲食街・飲食施設> | 柿の木割り（駅前飲食店街） | | | | | | | | | | | | |
| 有機海サービスエリア | | | | | | | | | | | | | | |

| 大分類 | 中分類 | 具体的資源 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | |
|------------------|----------------|--------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|--|
| 歴史・文化資源 | <城跡> | 松倉城壘群（越中三大山城） | | | | | | | | | | | | | |
| | <城跡> | 魚津城跡 | | | | | | | | | | | | | |
| | <史跡> | 桜峠遺跡 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 松倉・虎谷・河原波金山 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 大音主馬の碑 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 高円堂用水 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 早月上野遺跡 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 大伴家持の歌碑 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 万灯台 | | | | | | | | | | | | | |
| | <特別天然記念物> | カモシカ | | | | | | | | | | | | | |
| | | ホタルイカ群遊海面 | | | | | | | | | | | | | |
| | <天然記念物> | 魚津埋没林 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 大沢の地鎮杉 | | | | | | | | | | | | | |
| | <建物> | 坪野のつなぎがや | | | | | | | | | | | | | |
| | | 旧沢崎家住宅 | | | | | | | | | | | | | |
| | <重要無形民俗文化財> | 魚津のタテモン行事 | | | | | | | | | | | | | |
| | <無形民俗文化財> | 小川寺の獅子舞 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 布施谷節 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 鹿熊の刀踊り | | | | | | | | | | | | | |
| | | せり込み蝶六 | | | | | | | | | | | | | |
| | <有形民俗文化財> | たてもん | | | | | | | | | | | | | |
| | <彫刻> | 水噴きの龍（桃原寺） | | | | | | | | | | | | | |
| | <絵図> | 魚津町惣絵図 | | | | | | | | | | | | | |
| | <祭り> | 神明社祭礼 | | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津八幡宮献灯みこし祭り | | | | | | | | | | | | | |
| | | 愛宕社の火祭り | | | | | | | | | | | | | |
| | | 上村木七夕祭り | | | | | | | | | | | | | |
| 経田七夕祭り | | | | | | | | | | | | | | | |
| <踊り> | しんきろう節 | | | | | | | | | | | | | | |
| <産業> | 最先端産業や幅広い分野の企業 | | | | | | | | | | | | | | |
| <水> | てんこ水 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 円筒分水 | | | | | | | | | | | | | | |
| <名勝> | 霊気楼展望地点 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 懐かしの灯台塚 | | | | | | | | | | | | | | |
| <発祥の地> | かにかご発祥の地 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 米騒動発祥の地 | | | | | | | | | | | | | | |
| <その他> | 有頼やなぎ | | | | | | | | | | | | | | |
| | 寺院群（古文書・絵画等） | | | | | | | | | | | | | | |
| | しんきろう旋風 | | | | | | | | | | | | | | |
| 人的資源 | <三太郎博士> | 川原田政太郎（テレビ発明の先覚者） | | | | | | | | | | | | | |
| | | 盛永俊太郎（稲の研究者） | | | | | | | | | | | | | |
| | | 宇田新太郎（アンテナ超短波の研究者） | | | | | | | | | | | | | |
| | <その他> | 郷義弘（鎌倉時代の刀鍛冶） | | | | | | | | | | | | | |
| | | 横山源之助（「日本之下層社会」筆者） | | | | | | | | | | | | | |
| | | 浜多虎松（カニかご開発） | | | | | | | | | | | | | |
| | | 上楽菊（米作り日本一） | | | | | | | | | | | | | |
| 阿波加信造（コレラの治療法発見） | | | | | | | | | | | | | | | |

2. 観光に関する統計資料

◆魚津市観光客入込数推移(総括)

| 年別 | | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 |
|------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 入込総数 | | 1,269,447 | 1,343,789 | 1,481,684 | 1,614,173 | 1,464,488 |
| 県内外 | 県内 | 876,714 | 926,004 | 1,091,504 | 1,289,292 | 1,192,102 |
| | 県外 | 392,233 | 417,195 | 390,180 | 324,881 | 272,386 |
| 宿泊別 | 宿泊 | 161,371 | 145,762 | 218,994 | 215,184 | 222,971 |
| | 日帰り | 1,106,826 | 1,196,327 | 1,262,690 | 1,398,989 | 1,241,517 |

◆魚津市観光客入込数推移(資源・観光施設)

| 年別 | | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 |
|--------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 入込総数 | | 1,032,150 | 1,159,589 | 1,273,929 | 1,408,841 | 1,232,967 |
| 県内外 | 県内 | 656,980 | 755,374 | 902,979 | 1,100,455 | 978,341 |
| | 県外 | 375,170 | 404,125 | 370,950 | 308,386 | 254,626 |
| 宿泊別 | 宿泊 | 151,837 | 134,542 | 201,874 | 200,349 | 206,881 |
| | 日帰り | 880,313 | 1,025,047 | 1,072,055 | 1,208,492 | 1,026,086 |
| 資源・施設名 | 魚津水族館 | 137,089 | 151,427 | 143,537 | 154,726 | 130,565 |
| 県内外 | 県内 | 91,062 | 28,800 | 98,384 | 137,203 | 115,153 |
| | 県外 | 46,027 | 122,627 | 45,153 | 17,523 | 15,412 |
| 宿泊別 | 宿泊 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 日帰り | 137,089 | 151,427 | 143,537 | 154,726 | 130,565 |
| 資源・施設名 | 埋没林博物館 | 68,448 | 51,368 | 53,597 | 50,387 | 40,482 |
| 県内外 | 県内 | 20,207 | 15,285 | 22,897 | 36,129 | 30,786 |
| | 県外 | 48,241 | 36,083 | 30,700 | 14,258 | 9,696 |
| 宿泊別 | 宿泊 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 日帰り | 57,398 | 58,579 | 52,360 | 50,387 | 40,482 |
| 資源・施設名 | ミラージュランド | 84,317 | 243,604 | 298,118 | 314,012 | 172,337 |
| 県内外 | 県内 | 63,244 | 194,607 | 227,061 | 232,191 | 127,486 |
| | 県外 | 21,073 | 48,997 | 71,057 | 81,821 | 44,851 |
| 宿泊別 | 宿泊 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 日帰り | 84,317 | 243,604 | 298,118 | 314,012 | 172,337 |
| 資源・施設名 | 歴史民俗博物館 | 5,003 | 3,992 | 4,026 | 13,301 | 4,495 |
| 県内外 | 県内 | 3,966 | 2,950 | 3,540 | 8,905 | 3,279 |
| | 県外 | 1,037 | 1,042 | 486 | 4,396 | 1,216 |
| 宿泊別 | 宿泊 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 日帰り | 5,003 | 3,992 | 4,026 | 13,301 | 4,495 |

◆魚津市観光客入込数推移(イベント)

| 年別 | | 平成18年 | 平成19年 | 平成20年 | 平成21年 | 平成22年 |
|-------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 入込総数 | | 237,297 | 184,200 | 207,755 | 205,332 | 231,521 |
| 県内外 | 県内 | 219,734 | 170,630 | 188,025 | 188,837 | 213,761 |
| | 県外 | 17,063 | 13,070 | 19,230 | 16,495 | 17,760 |
| 宿泊別 | 宿泊 | 9,534 | 11,220 | 17,120 | 14,835 | 16,090 |
| | 日帰り | 226,513 | 171,280 | 152,280 | 190,497 | 215,431 |
| イベント名 | 戦国のろし祭り | 4,000 | 4,000 | 3,000 | 4,200 | 3,800 |
| 県内外 | 県内 | 3,950 | 3,950 | 2,990 | 4,180 | 3,770 |
| | 県外 | 50 | 50 | 10 | 20 | 30 |
| 宿泊別 | 宿泊 | 0 | 0 | 0 | 10 | 10 |
| | 日帰り | 3,950 | 4,000 | 3,000 | 4,190 | 3,790 |
| イベント名 | 魚津まつり | 95,000 | 50,000 | 70,000 | 61,000 | 75,000 |
| 県内外 | 県内 | 90,000 | 49,000 | 63,000 | 54,900 | 67,500 |
| | 県外 | 5,000 | 1,000 | 7,000 | 6,100 | 7,500 |
| 宿泊別 | 宿泊 | 0 | 1,000 | 7,000 | 6,100 | 7,500 |
| | 日帰り | 95,000 | 49,000 | 63,000 | 54,900 | 67,500 |
| イベント名 | 〇〇魚津 | 40,200 | 31,000 | 36,655 | 37,771 | 34,730 |
| 県内外 | 県内 | 40,000 | 30,800 | 36,355 | 37,471 | 34,450 |
| | 県外 | 200 | 200 | 300 | 300 | 280 |
| 宿泊別 | 宿泊 | 100 | 200 | 0 | 300 | 280 |
| | 日帰り | 40,200 | 30,800 | 0 | 37,471 | 34,450 |

◆宿泊施設一覧(平成 23 年 12 月現在)

| No. | 施設名 | 部屋数 | 収容人数 |
|-----|---------------|-----|-------|
| 1 | 魚津スカイホテル | 48 | 56 |
| 2 | ホテルサンルート魚津 | 55 | 70 |
| 3 | ビジネスホテル美浪 | 22 | 35 |
| 4 | 海に見えるホテル美浪館 | 18 | 35 |
| 5 | アパホテル〈魚津駅前〉 | 145 | 168 |
| 6 | ホテルグランミラージュ | 75 | 110 |
| 7 | ベストイン魚津 | 78 | 156 |
| 8 | 魚津マンテンホテル駅前 | 185 | 189 |
| 9 | ホテルルートイン魚津 | 152 | 200 |
| | ホテル計 | 778 | 1019 |
| 10 | よし乃家旅館 | 5 | 15 |
| 11 | 大島屋旅館 | 5 | 8 |
| 12 | 金太郎温泉 | 92 | 500 |
| 13 | 大谷温泉 | 11 | 20 |
| 14 | いけがみ | 12 | 40 |
| 15 | 元祖 仁右衛門家旅館 | 15 | 70 |
| 16 | 平左衛門 | 10 | 50 |
| | 温泉・旅館計 | 150 | 703 |
| 17 | 辻わくわくランド 民宿茶屋 | 7 | 30 |
| | 民宿計 | 7 | 30 |
| | 総計 | 935 | 1,752 |

(順不同)

3. 観光振興条例及び観光振興計画策定の経過

| 平成 22 年度 | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 9 月 28 日 | 第 1 回観光振興庁内検討会 |
| 10 月 12 日 | 第 2 回観光振興庁内検討会 |
| 10 月 14 日 | 第 1 回観光振興条例・観光振興計画策定委員会 |
| 10 月 29 日 | 第 3 回観光振興庁内検討会 |
| 11 月 29 日 | 第 2 回観光振興条例・観光振興計画策定委員会 |
| 11 月 17 日 | 第 4 回観光振興庁内検討会 |
| 11 月 26 日 | 第 3 回観光振興条例・観光振興計画策定委員会 |
| 12 月 16 日 | 12 月定例会産業建設委員会にて観光振興条例素案の説明 |
| 12 月 17 日 ～ 1 月 11 日 | パブリックコメント手続きの実施 |
| 1 月 14 日 | 第 5 回観光振興庁内検討会 |
| 1 月 24 日 | 第 4 回観光振興条例・観光振興計画策定委員会 |
| 3 月 18 日 | 3 月定例会にて観光振興条例議決 |

| 平成 23 年度 | |
|-----------|---|
| 5 月 25 日 | 第 6 回観光振興庁内検討会（観光振興計画策定庁内検討会に名称変更） |
| 6 月 10 日 | 第 5 回観光振興条例・観光振興計画策定委員会（観光振興計画策定委員会に名称変更） |
| 7 月 8 日 | 第 1 回観光振興計画策定検討部会 |
| 8 月 2 日 | 第 2 回観光振興計画策定検討部会 |
| 9 月 1 日 | 第 3 回観光振興計画策定検討部会 |
| 11 月 30 日 | 第 7 回観光振興計画策定庁内検討会 |

| | |
|-----------------|---------------------|
| 12月1日 ～1月3日 | 観光振興計画策定に係る観光客満足度調査 |
| 12月22日 | 第8回観光振興計画策定庁内検討会 |
| 1月17日 | 第9回観光振興計画策定庁内検討会 |
| 2月8日 | 第6回観光振興計画策定委員会 |
| 2月20日 ～3月19日 | パブリックコメント手続きの実施 |
| 3月28日 | 最終報告 |

4. 観光振興条例及び観光振興計画策定の体制

①観光振興条例・観光振興計画策定委員会名簿

| 役職 | 分類 | 関係諸団体(機関名) | 氏名 |
|-----|---------|---------------------------------|---|
| 会長 | 学識経験者 | 富山大学 芸術文化学部 | 渡辺 康洋 |
| 副会長 | 観光関係団体 | 魚津市観光協会 | 木下 荘司 |
| 委員 | 学識経験者 | 魚津商工会議所 | 溝口 隆 |
| | 観光関係団体 | 魚津市ホテル旅館組合 | 生駒 晴俊 |
| | | 魚津観光ボランティアじゃんとこい | 浦辺 としみ |
| | | (財)魚津市施設管理公社 | 上野 東 |
| | | (財)魚津市体育協会 | 大谷 清雅 |
| | | 魚津タクシー協会 | 佐々木 祐司 |
| | | 魚津市商店街連盟 | 澤井 正之 |
| | | 西日本旅客鉄道(株)金沢支社 | 藤井 敏明 |
| | | 中日本高速道路(株)金沢支社 富山保全・サービスセンター | 吉村 祐次 (H22.10.14～H23.6.30) 新森 清志 (H23.7.1～) |
| | | 魚津飲食業組合 | 水田 万輝子 |
| | | 富山地方鉄道(株) | 村井 義治 (H22.10.14～H23.6.26) 土肥 芳一 (H23.6.27～) |
| | 各種産業団体 | 魚津漁業協同組合 | 魚崎 忠雄 |
| | | 魚津市農業協同組合 | 海野 武史 |
| | | 新川森林組合 | 大江 幹夫 (H22.10.14～H23.3.31) |
| | | | 古川 博明 (H23.4.1～) |
| | 魚津商工会議所 | 千田 則行 | |
| | 行政関係 | 富山県観光・地域振興局観光課 | 小城 慎治 (H22.10.14～H23.3.31) |
| | | | 磯部 賢 (H23.4.1～) |

②観光振興計画策定検討部会名簿

| 部門 | 所属 | 氏名 |
|-----|-------------------------|--------|
| 食・泊 | 海の駅蜃気楼 | 獵沢 雅人 |
| | 商店街連盟 | 大野 聡一 |
| | 魚津商工会議所 | 浜多 等志 |
| | 魚津漁業協同組合 | 高瀬 利幸 |
| | 魚津飲食業組合 | 星山 慎一 |
| | 魚津市農業協同組合 | 守内 宏尚 |
| | ホテル旅館組合 | 村瀬 宏幸 |
| | 魚津観光ボランティア | 上野 恭子 |
| 体 験 | 新川森林組合 | 西島 智和 |
| | 魚津市施設管理公社 | 永田 慎太郎 |
| | 魚津市体育協会 | 松本 裕造 |
| | 魚津商工会議所 | 尾崎 誠 |
| | 魚津市農業協同組合 | 山口 正 |
| | ホテル旅館組合 | 中村 高久 |
| | 西日本旅客鉄道(株) | 広清 政秀 |
| | 魚津観光ボランティア | 今井 千代子 |
| 受入 | 魚津市民バスNPO法人連絡協議会 | 江幡 岩雄 |
| | 魚津市民バスNPO法人連絡協議会 | 大久保 義雄 |
| | (株)ホテルニューオータニ高岡有磯海SA下り線 | 石黒 岩雄 |
| | 富山地方鉄道(株) | 大野木 貴吉 |
| | 西日本旅客鉄道(株) | 塚本 晃 |
| | 魚津タクシー協会 | 佐々木 祐司 |
| | 魚津市日本語ボランティア国際交流推 | 松田 典子 |
| | 魚津観光ボランティア | 金 台 暲 |

5. 魚津市観光振興条例

観光は、農林水産業、商工業、サービス業など幅広い分野に関連する裾野の広い産業であり、地域経済の活性化、まちの賑わい創出や雇用の拡大をもたらす総合的な産業です。

観光を振興していくことは、様々な産業や地域の連携による市民の一体感を醸成するとともに、本市を訪れる人々との交流を通して市民がふるさとの良さを再認識し、地域への誇りと愛着を育み、それらを次世代へ引き継ぐ契機となります。

本市は、北アルプス立山連峰に連なる毛勝三山や僧ヶ岳を源とした清冽な水が市内をめぐり、富山湾に注ぎ、山から海までが一つの水循環でつながる特徴的な地形を有しています。

その清冽な水が、三大奇観である蟹気楼、ほたるいか群遊海面、埋没林をはじめ、樹齢500年を超える洞杉群に代表される豊かな自然や多様な生物を育み、美味しい山の幸と海の幸をもたらしてきました。

さらに、戦国の城跡、米騒動発祥の地、たてもん行事、神社仏閣などの歴史的・文化的遺産、水族博物館、埋没林博物館などの集客施設、県東部を代表する飲食店街、宿泊施設など、多彩な地域資源があります。

これら多くの地域資源を観光資源として魅力の向上を図り、活用し、観光客が本市にできる限り長く滞在し、再び訪れたいくなるような観光のまちづくりが重要な課題です。

そこで本市の観光の振興について基本的な考え方を明らかにすることにより、市民の観光に対する理解を深め、市民、観光事業者、観光関係団体や市が連携しながら、一体となって魅力ある観光のまち魚津の実現を目指すため、ここに魚津市観光振興条例を制定します。

(目的)

第1条 この条例は、本市における観光の振興について基本的事項を定めることにより、観光の振興施策を総合的に推進し、もって豊かで活力に満ちた観光のまち魚津の実現に資することを目的とします。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによります。

(1) 観光施設とは、次に掲げる施設をいいます。

- ア 文化教養施設
- イ 娯楽施設
- ウ 宿泊設備を備えた施設
- エ 公共交通に関する施設
- オ その他観光に関する施設

(2) 観光事業者とは、次に掲げる者をいいます。

- ア 観光施設の管理又は運営に携わっている者
- イ 旅行に関するサービスなどを提供している者

ウ 農林水産業又は商工業に携わる者

エ その他観光に関する事業に携わる者

(3) 観光関係団体とは、次に掲げる者をいいます。

ア 各観光事業者との連携調整を行っている者

イ 観光事業者によって組織される者

ウ 観光施設等の説明又は紹介活動を行う者

エ その他観光に関する活動を行っている者

(基本理念)

第3条 観光の振興は、市民、観光事業者、観光関係団体及び市が適切な役割分担と相互の連携の下、次に掲げる事項に基づき行うこととします。

(1) 地域資源を活かした魚津らしい魅力ある観光のまちづくりを進めます。

(2) おもてなしの心で本市を訪れる人の満足度を高めます。

(3) 地域における創意工夫を凝らした主体的な取組みを尊重します。

(4) 本市の自然との調和及び環境に配慮します。

(市民の役割)

第4条 市民は、第1条に掲げる目的を達成するため、前条に規定する基本理念(以下「基本理念」といいます。)にのっとり、次の役割を担うよう努めるものとします。

(1) 訪れる人を心のこもったおもてなしで迎えること。

(2) 観光行事に積極的に参加するなど、賑わいのあるまちづくり

(3) 地域の歴史及び文化的資源を大切に、郷土に自信と誇りを持つ観光のまちづくり

(4) 自然環境の保全及び生活環境の美化に取り組むこと。

(観光事業者及び観光関係団体の役割)

第5条 観光事業者及び観光関係団体は、第1条に掲げる目的を達成するため、基本理念にのっとり、次の役割を担うよう努めるものとします。

(1) 多様化する観光客の需要に対応した積極的な受入れ体制の整備による魅力ある観光地づくり

(2) 他の観光事業者、他の観光関係団体及び市と連携した観光情報の収集、提供及び誘客宣伝

(3) 連携する観光地と広域的な交流を行い、国際化に対応した観光地づくり

(4) 地場産品などの積極的な活用

(市の役割)

第6条 市は、第1条に掲げる目的を達成するため、基本理念にのっとり、次の事項を総合的に講ずるよう努めます。

(1) 多様化する観光客の需要に応えた魅力ある観光のまちづくり

(2) 市民、観光事業者及び観光関係団体と一体となり、心のこもったおもてなしのできる人材育成及び体制整備の促進

(3) 高速交通網に対応した広域観光の展開及び観光客の滞在時間の長期化に対応した宿泊拠点となりえるまちづくり

(4) 豊かな自然並びに歴史及び文化的資源を活かしたまちづくり

(5) 国際観光に対応したまちづくり

(観光振興計画)

第7条 市長は、本市の観光の振興を総合的かつ戦略的に推進するため、観光振興計画(以下「振興計画」といいます。)を策定します。

2 振興計画には、次の事項を定めます。

(1) 観光の振興に関する目標及び基本方針

(2) 観光の振興に関する施策の具体的事項

(3) 観光の振興の推進に関する市民、観光事業者、観光関係団体及び市が担う事項

(4) その他観光の振興に関する事項

3 市長は、振興計画を策定するに当たり、市民、観光事業者及び観光関係団体の意見を求めるとともに、振興計画を定めたときは、これを公表します。

4 前項の規定は、振興計画の変更についても準用します。

5 市長は、振興計画に基づく施策の実施状況を公表します。

(広域連携)

第8条 市民、観光事業者、観光関係団体及び市は、多様化する観光客の需要に応えるため、国、県、他の地方公共団体などとの連携を図り、観光資源を広域的かつ有機的に連結させた観光の振興に努めるものとします。

(支援措置)

第9条 市は、市民、観光事業者及び観光関係団体が行う活動で観光の振興に寄与していると認められる活動に対して必要な支援を行うよう努めます。また、観光の振興に必要と認められる事項について、財政上の措置を講ずるよう努めます。

(委任)

第10条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定めます。

附 則

この条例は、平成23年4月1日より施行します。

6. 観光振興計画策定検討部会提案事業一覧

| 部門 | 事業名 | 事業内容 | 実施事項(準備事項) | 関係団体 | 平成24年度 | | | | 平成25年度 | | | | 平成26年度 | | | | 平成27年度 | | | | 平成28年度 | | | |
|-----|----------------|-----------------------------------|--|---------------------------|--------|---|---|---|-----------|---|---|---|--------|---|---|---|--------|---|---|---|--------|---|---|---|
| | | | | | ① | ② | ③ | ④ | ① | ② | ③ | ④ | ① | ② | ③ | ④ | ① | ② | ③ | ④ | ① | ② | ③ | ④ |
| 食/泊 | 越中魚津バイ貝ブランド化事業 | 商標登録手続き | 名称の募集・選定 商標登録手続き | 漁協、飲食業組合 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | メニュー検討・開発 | メニュー作成の調査・研究、基本方針の策定 各店舗での試作・メニュー化 | 漁協、飲食店組合 他 | | | | | 事前調査・準備期間 | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | PRの展開 | のぼり・ポスター・チラシ等のデザイン作成 | 飲食業組合、観光協会 他 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | PR冊子等の作成 HP等による情報発信 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 食/泊 | 居酒屋ストリート事業 | 駅前商店街にて景観の演出(大漁旗、たてもん、統一看板(のぼり)等) | 設置協力の要請、設置個所の検討 統一看板、のぼり等の作成(観光協会推奨店) | 飲食業組合、漁協、商店街連盟、商工会議所、観光協会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 統一メニュー・オリジナルメニューの研究・開発 | 旬の食材カレンダー等、レシピの検討・開発 | 飲食業組合、漁協、商店街連盟、魚津商工会議所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ホテルとの連携強化による観光客の利用促進 | 周辺ホテルとの連携・調整 | 商店街連盟、魚津商工会議所、バス、タクシー業者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ストリートMAP作成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 交通機関との調整(歩行者天国等の調整) スタンプラリー事業の検討・実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 食/泊 | 寒ハギブランドUP事業 | 寒ハギドッグの全国展開支援 | 市内外におけるモニタリング調査 新商品開発 全国展開へ向けたPR活動 | 飲食業組合、漁協、農協、商店街連盟、魚津商工会議所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | カワハギ料理の提供 | 飲食店でのメニューの検討・開発 共通のぼりの作成 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 食/泊 | うおづ滞在型観光PR事業 | ターゲット別観光コースの設定 | 宿泊と体験メニューの検討・開発(ターゲット毎) | 旅行者、観光ボランティア、漁協、海の駅歴気楼 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ・ビジネス客を対象とした宿泊・飲食セットメニュー開発 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ・連泊客を対象としたプラン開発 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ・広域旅行者を対象としたプラン開発 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ・高齢者夫婦・グループを対象としたプラン開発 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ・子供連れ夫婦・カップルを対象としたプラン開発 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | うおづ滞在促進ポスターの作成 HPへの情報公開 全国へのスポットCM | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 部門 | 事業名 | 事業内容 | 実施事項(準備事項) | 関係団体 | 平成24年度 | | | | 平成25年度 | | | | 平成26年度 | | | | 平成27年度 | | | | 平成28年度 | | | |
|---------------|--------------|--|--|--|--------|---|---|---|--------|---|---|---|--------|---|---|---|--------|---|---|---|--------|---|---|---|
| | | | | | ① | ② | ③ | ④ | ① | ② | ③ | ④ | ① | ② | ③ | ④ | ① | ② | ③ | ④ | ① | ② | ③ | ④ |
| 受入 | 観光ガイド育成事業 | 観光ガイド育成システムを導入する。(市民→ボランティアガイド→有償ガイドへのステップアップ) | 育成システムの開発 | 観光協会、自治会、観光ボランティア、シルバー人材、市 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 講師選定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 観光ガイド育成システムの広報発信 | 観光協会、自治会、観光ボランティア、シルバー人材、市 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 委員会立ち上げ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受入 | 有磯海SAとの連携事業 | 直接、市内観光ができるシャトルバス、タクシーを定期巡回させる | 制度仕様検討 | 観光協会、自治会、観光ボランティア、シルバー人材、市 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 問題集制作 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 教育委員会との調整 | 観光ボランティア、自治会、市民バスNPO法人連絡協議会、魚津タクシー協会、市 | 育成システムの開発 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津市民がもっと魚津のまちを知るインフラを整備する(育成システムの運動) | | 街のイベントへの参加意識向上(若者) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受入 | マドンナたちの甲子園事業 | 大会とコラボして郷土物産展を開催する | 無料市内ツアー定期取行(コース、仕様検討) | 中日本高速道路、ホテルニューオータニ高岡、市民バスNPO法人連絡協議会、魚津タクシー協会、商工会議所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ニーズに合わせた観光コース設定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 広報発信 | ホテル旅館組合、商工会議所、商店街連盟、飲食業組合、全日本大学女子野球選手権大会魚津市実行委員会 | (週末限定)受付案内人の設置 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 魚津市ならではの、商品やサービスを発信できる基地として活用 | | ドライバー向けの情報発信の仕組み検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受入 | マドンナたちの甲子園事業 | 大会とコラボして郷土物産展を開催する | ツール制作(看板、パンフレット…) | 全日本大学女子野球選手権大会 魚津市実行委員会、各メディア | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 開催仕様検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 出展者募集 | 自治会、ホテル旅館組合、全日本大学女子野球選手権大会 魚津市実行委員会 | 参加者への情報発信 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | スター選手となり得るイメージキャラクターを創造する | | 各大学との調整 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受入 | せり込み蝶六ブランド事業 | 大会とコラボして郷土物産展を開催する | スター候補選抜 | 魚津せり込み蝶六保存会、ホテル旅館組合、旅行会社、観光協会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | メディアとの協力・情報発信 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 地区(校下)単位での応援合戦(チーム)を行う | 各自治会との調整、少年野球チームとの調整 | 観光協会、旅行会社、市民バスNPO法人連絡協議会、魚津タクシー協会、ホテル旅館組合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 地元(自治会)との交流機会の創造 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受入 | インバウンド活性化事業 | 全ての観光宿泊施設で海外の番組が見れる環境作り | 選手家族への空き時間を利用してのミニ旅行企画を提供する | ホテル・旅館での出張披露の仕組み検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | ミニ旅行コースの設定、優遇措置の検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 各大学への情報発信の仕組み検討 | ホテル旅館組合、飲食業協会、商店街連盟、観光協会 | 宿泊先での情報発信の仕組み検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 運営形式の検討(飛込参加受入型) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受入 | インバウンド活性化事業 | 全ての観光宿泊施設で海外の番組が見れる環境作り | カリスマ踊り子の創出、募集 | ホテル旅館組合、飲食業協会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 参加型ツアーの開発・販売および誘致活動 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ホテル・旅館での出張披露の仕組み検討 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 環境整備 | 観光協会、市 | パンフレット制作 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホテル、飲食店協会との調整 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 受入 | シティーセールス強化事業 | 魚津市そのものの魅力を大都市圏及び海外に効果的及び効率的に情報発信する | 都市圏アンテナショップの活用(固定ブース確保) | 観光協会、市 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 都市圏の展示会出展 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | ゆかりのある著名人とのコラボレーションの画策 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 各メディア媒体への露出 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |